

令和7年度事業計画

〔芸術文化センターの管理・運営（概要）〕



開館20周年記念事業

お客様とともに20周年を祝うため、令和6年12月29日から3日間開催したジルヴェスター・スペシャル・コンサートから、令和7年12月31日のジルヴェスター・ガラ・コンサートまでの1年間、より充実した大規模なプログラムを提供する。

1 芸術文化センター事業

(1) 主催事業等

主催事業は137事業212公演以上を予定し、自主制作公演や古典芸能、知的・発達障がい児（者）向けの社会包摂プログラムなども実施する。

【主な記念公演】

- ・佐渡裕指揮 トーンキュンストラ管弦楽団（5月10日）
- ・佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ「さまよえるオランダ人」（7月19日～27日）
- ・ひょうご能「安宅」（9月21日）
- ・芸術文化センタープロデュース 栗山民也演出「明日を落としても」（10月11日～13日）
- ・ひょうごの民俗芸能祭第3弾～五国の川と文化遺産（11月1日）

2 兵庫芸術文化センター管弦楽団事業

(1) 定期演奏会等

定期演奏会は10事業30公演を予定し、青少年芸術体験事業「わくわくオーケストラ教室」や小学校アウトリーチ活動も引き続き実施する。

【主な記念公演】

- ・第161回定期演奏会 ブリテン「戦争レクイエム」（8月8日～10日）
- ・開館20周年記念演奏会（12月11日）
- ・第165回定期演奏会 ベートーヴェン「第九」（12月12日～14日）

3 芸術文化センター広報・普及活動

(1) 広報・普及活動

多彩な情報誌「ひょうご舞台芸術」や会報誌のほか、各種SNSや動画配信等を活用した広報展開を図り、先行予約会員や券売率の増加を目指す。また、20周年特設WEBページを開設し、最新の公演情報やこれまでのセンターの歩みを振り返る。

(2) 開館20周年記念事業「オープンデー」の実施

多彩な芸文センターの魅力を多くの人に発信することにより、みんなの心の広場として、より一層地域に愛され、世界にはばたき、次世代にひろがる劇場を目指すため、11月29日（土）に開館20周年事業「オープンデー」を実施する。

4 施設の管理運営事業

(1) 貸館事業

貸館公演数は、令和6年度は352公演を予定しており、コロナ禍以前の令和元年度の326公演を上回る見込みであり、令和7年度についても引き続き、舞台芸術の鑑賞、創作、発表など多彩な文化創造活動の拠点をめざす。

(2) 人材育成

芸術文化観光専門職大学の臨地実務実習生の受入れ（R4～）やトライやるウィークの受入れ等を引き続き実施し、アートマネジメントの将来を担う人材育成を図る。

〔芸術文化センターの管理・運営（詳細）〕

阪神・淡路大震災からの「心の復興、文化の復興」のシンボルとして、開館（H17年10月）以来19年間、年間約45万人の入場者を迎え、総入場者数は850万人を超えた。この間県民（ファン）の熱い支持を得て新たな試みにも挑戦し続け、継続して好調さを維持しながら、震災からの文化の復興の拠点となる本格的な舞台芸術専門劇場として創造的復興の具体的姿を発信してきた。

令和7年度においても、県民の幅広い期待に応えるため、これまでの実績を踏まえた多彩で豊富なメニューを提供し、人々が元気で輝き続け、誇りに思ってもらえる劇場（みんなの広場）であり続けるとともに、街のにぎわいを創出することにより、県民生活の質的向上・地域創生の一翼を担っていく。

開館20周年を迎え、さらにその先においても活気ある劇場として、安全・安心・快適のための基盤整備（ハード）をはじめ、長期的な県収支フレーム（予算）をベースに継続的かつ十分な財源の確保、選べる“楽しさ”の展開（ソフト）による「にぎわい」の安定・継続、優れた人材の確保による運営体制を継続していく。

【事業展開の基本コンセプト】

- ①多彩な舞台芸術の『創造・発信』
- ②芸術性豊かなものから親近感に富むものまで『幅広いニーズ』に応える上演
- ③舞台芸術の『普及』・県民の創造活動の支援

1 芸術文化センター事業

（1） 佐渡芸術監督プロデュースオペラ・コンサート公演（KOBELCO 大ホール）

佐渡裕芸術監督ならではの企画による制作・上演。プロデュースオペラは全国的にも珍しい全7回ロングラン公演を展開。幅広いオペラファンの獲得・定着をめざす。

演 目	公演年月日	出演者等
歌劇「さまよえるオランダ人」 （新制作20作目） （全3幕／ドイツ語上演・ 日本語字幕付き／新制作） （公財）三菱UFJ信託芸術文化財団助成	7. 7. 19 ～7. 27 （7公演）	音楽・台本：リヒャルト・ワーグナー 指揮：佐渡裕 演出：ミヒャエル・テンメ 演出補：飯塚励生 装置・衣裳：フリードリヒ・デパルム 照明：ミヒャエル・グルントナー 合唱指揮：矢澤定明 合唱指導：トーマス・ラング 演出助手：森川太郎 衣裳助手：ドロテー・レデルスタイナー 舞台監督：幸泉浩司 プロデューサー：小栗哲家 出 演：（ダブル・キャスト） ヨーゼフ・ワーグナー／高田智宏、ルニ・ブラッターベルク／ 妻屋秀和、シネイド・キャンベル＝ウォレス／田崎尚美、 ロバート・ワトソン／宮里直樹、ステファニー・ハウツィール ／塩崎めぐみ、鈴木准／清水徹太郎 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団 合 唱：ひょうごプロデュースオペラ合唱団
		〔関連公演〕 3事業13公演 ＊「さまよえるオランダ人」ハイライトコンサート～ ええとこどり！ 芸文センター（4/16、17）及び県内9会場9公演（4/19 丹 波篠山市、4/20 洲本市、4/26 赤穂市、4/27 市川町、4/29 三田市、5/5 神戸市、5/6 稲美町、5/10 養父市、5/11 明 石市）実施（計10会場11公演） ＊ワンコイン・プレ・レクチャー（同日2回） 6/5（講師：三澤洋史） ＊前夜祭 7/18（高松公園）主催：西北活性化協議会

演 目	公演年月日	出演者等
ジルヴェスター・ガラ・ コンサート 2025	7. 12. 31 (1公演)	指揮：カーチュン・ウォン 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団
合 計	2 事業	8 公演 (県内 1 3 公演)

※芸術文化センター管弦楽団演奏会は別記

(2) 独自の自主企画・プロデュースによる公演／兵庫県ゆかりの古典芸能
(阪急中ホール)

芸文センター独自に企画・制作し上演する良質で多彩な演目により新たなファンを発掘。

演 目	公演年月日	出演者等
自主制作 公演 「明日を落としても」	7. 10. 11 ～13 (4公演)	作：ピンク地底人3号 演出：栗山民也
(河内特別 参加企画) 古典芸能	ひょうご能『安宅』 あとか	出演：上田拓司、善竹隆司、桂吉坊、 石井としろう、河内厚郎 ほか
	小泉八雲とセツ (神戸女学院小ホール)	出演：小泉凡、奥村旭翠(筑前琵琶)、 木場大輔(胡弓)、旭堂南龍(講談) 上田顕崇(能 仕舞) ほか
伝統芸能	ひょうごの民俗芸能祭 第3弾～五国の川と文化遺産～	出演：田辺真人(園田学園女子大学名誉教授) 千谷麒麟獅子舞、デカンショ節、 住吉神社打込囃子、阿万風流大踊小踊 ほか
こども向け公演	宮川彬良&アンサンブル・ベガ こどもの日スペシャル (KOBELCO 大ホール)	出演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ
	レ・ヴァン・ロマンティーク・トウキョウ with 川口成彦(フォルテピアノ) (神戸女学院小ホール)	出演：レ・ヴァン・ロマンティーク・トウ キョウ 三宮正満(オーボエ)、 満江菜穂子(クラリネット)、 村上由紀子(ファゴット)、福 川伸陽(ホルン)、川口成彦(フ ォルテピアノ)
プログラム 社会包摂	知的・発達障がい児(者) にむけての劇場体験 プログラム (KOBELCO 大ホール)	出演：調整中 企画・コーディネート：国際障害者交流センター (ビッグ・アイ) 制作：兵庫県立芸術文化センター
合 計	7 事業	1 1 公演

(3) 幅広いニーズに応える公演（自主企画制作・招聘・提携・共催事業等）

① 国内外オーケストラ・オペラ・バレエ・室内楽公演等

音楽マネジメント事務所等との連携により、世界水準のオーケストラ、オペラ、バレエ公演をはじめ、様々な国の優れた舞台芸術を上演し、観客の期待に応えるとともに、大規模舞台芸術専門劇場としての存在感をアピール。

演 目		公演年月日	出演者等
世界の オー ケス トラ	佐渡裕指揮 トーンキ ュンストラ管弦楽団 ピアノ：反田恭平 (KOBELCO 大ホール)	7. 5. 10 (1公演)	指揮：佐渡裕 ピアノ：反田恭平 管弦楽：トーンキュンストラ管弦楽団
	山田和樹指揮 バーミ ンガム市交響楽団 (KOBELCO 大ホール)	7. 6. 29 (1公演)	指揮：山田和樹 ピアノ：河村尚子 管弦楽：バーミンガム市交響楽団
	クラウド・マケラ指揮 ロイヤル・コンサート ヘボウ管弦楽団 (KOBELCO 大ホール)	7. 11. 15 (1公演)	指揮：クラウド・マケラ 管弦楽：ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団
世界の 合唱	ウィーン少年合唱団 (KOBELCO 大ホール) [ABC テレビ 共催]	7. 6. 1 (1公演)	出演：ウィーン少年合唱団
世界の 巨匠	ミハイル・プレトニョ フ（ピアノ） (KOBELCO 大ホール)	7. 6. 7 (1公演)	ピアノ：ミハイル・プレトニョフ
	カール＝ハインツシュ ッツ（フルート）&吉野 直子（ハープ） (KOBELCO 大ホール)	7. 6. 8 (1公演)	フルート：カール＝ハインツ・シュッツ ハープ：吉野直子
	ダニエル・オッテンザ マー クラリネット・ トリオ・アンソロジー (神戸女学院小ホール)	7. 6. 26 (1公演)	クラリネット：ダニエル・オッテンザマー チェロ：シュテファン・コンツ ピアノ：クリストフ・トラクスラー
	エマニュエル・パユ（フ ルード）無伴奏 (神戸女学院小ホール)	7. 7. 10 (1公演)	フルード：エマニュエル・パユ
	クリスチャン・ツイメ ルマン（ピアノ） (KOBELCO 大ホール)	7. 11. 21 (1公演)	ピアノ：クリスチャン・ツイメルマン
	アンネ・ゾフィー・フォ ン・オッター（メゾソプ ラノ）のクリスマス (神戸女学院小ホール)	7. 12. 10 (1公演)	メゾソプラノ：アンネ・ゾフィー・フォン・オッター ギター：ファビアン・フレドリクソン ピアノ：レイフ・ケイナー＝リドストロム
	イザベル・ファウスト （ヴァイオリン）無伴 奏（神戸女学院小ホール）	8. 1. 31 (1公演)	ヴァイオリン：イザベル・ファウスト
	ベルリン・フィル八重 奏団 (KOBELCO 大ホール)	8. 2. 23 (1公演)	ヴァイオリン：樫本大進、ロマーノ・トマシーニ ヴィオラ：アミハイ・グロス チェロ：クリス トフ・イゲルブリンク コントラバス：エスコ ライネ クラリネット：ヴェンツェル・フック ス ホルン：シュテファン・ドール ファゴッ ト：シュテファン・シュヴァイゲルト

演 目		公演年月日	出演者等
兵庫県出身、 世界で活躍する音楽家たち	春のピアノ四重奏 — ミューズが輝く瞬間 (神戸女学院小ホール)	7. 4. 20 (1公演)	ピアノ：河村尚子 (西宮出身) ヴァイオリン：岡本誠司 ヴィオラ：赤坂智子 チェロ：伊藤悠貴
	山田和樹指揮 バーミ ンガム市交響楽団 (KOBELCO 大ホール) *再掲	7. 6. 29 (1公演)	指揮：山田和樹 ピアノ：河村尚子 (西宮出身) 管弦楽：バーミンガム市交響楽団
	木嶋真優 (ヴァイオリ ン) の四季& J A Z Z (KOBELCO 大ホール)	7. 9. 7 (1公演)	ヴァイオリン：木嶋真優 (神戸出身) ピアノ：大林武司 ベース：小川晋平 ドラムス：山崎隼 ほか
	高田泰治 (チェンバロ) (神戸女学院小ホール)	7. 9. 20 (1公演)	チェンバロ：高田泰治 (神戸出身)
	小曽根真 (ピアノ) & No Name Horses (KOBELCO 大ホール)	7. 12. 16 (1公演)	ピアノ：小曽根真 (神戸出身) ビッグバンド：No Name Horses
	三浦謙司 (ピアノ) (KOBELCO 大ホール)	8. 3. 7 (1公演)	ピアノ：三浦謙司 (神戸出身)
日本を代表する音楽家たち	清塚信也 (ピアノ) with NHK交響楽団メンバ ー〜カラフル・ミュー ジック・ツアー〜2025 [ABCテレビ 共催] (KOBELCO 大ホール)	7. 4. 6 (1公演)	ピアノ、ナビゲーター：清塚信也 室内合奏：NHK交響楽団メンバー
	辻本玲 (チェロ) J. S. バ ッハ無伴奏チェロ組曲 全曲演奏会 (神戸女学院小ホール)	7. 4. 12 (1公演)	チェロ：辻本玲
	春のピアノ四重奏 — ミューズが輝く瞬間 (神戸女学院小ホール) *再掲	7. 4. 20 (1公演)	ピアノ：河村尚子 ヴァイオリン：岡本誠司 ヴィオラ：赤坂智子 チェロ：伊藤悠貴
	宮川彬良&アンサンプ ル・ベガ こどもの日スペ シャル (KOBELCO 大ホール) *再掲	7. 5. 5 (1公演)	出演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ
	仲道郁代 (ピアノ) (KOBELCO 大ホール)	7. 5. 17 (1公演)	ピアノ：仲道郁代
	千住家の軌跡 [ABCテレビ 共催] (KOBELCO 大ホール)	7. 5. 18 (1公演)	ヴァイオリン：千住真理子、 作曲家：千住明、日本画家：千住博 N響のメンバーによるアンサンブル
	曾根麻矢子 (チェンバ ロ) (神戸女学院小ホール)	7. 5. 31 (1公演)	チェンバロ：曾根麻矢子

演 目		公演年月日	出演者等
日本を代表する音楽家たち	宮田大(チェロ) & 大萩康司(ギター) (神戸女学院小ホール)	7. 7. 5 ～6 (2公演)	チェロ：宮田大 ギター：大萩康司
	小松亮太バンドネオン・カルテット (阪急中ホール)	7. 8. 24 (1公演)	バンドネオン：小松亮太、ヴィッレ・ヒルトラウ、早川純、鈴木崇朗 コントラバス：田中伸司 ギター：福井浩気
	木嶋真優 (ヴァイオリン) の四季 & J A Z Z (KOBELCO 大ホール) *再掲	7. 9. 7 (1公演)	ヴァイオリン：木嶋真優 ピアノ：大林武司 ベース：小川晋平 ドラム：山崎隼
	cokiba (コキーバ) (阪急中ホール)	7. 9. 12 (1公演)	アコーディオン：c o b a ギター：沖仁 ほか
	沖澤のどか指揮 京都市交響楽団 (KOBELCO 大ホール)	7. 9. 21 (1公演)	指揮：沖澤のどか 管弦楽：京都市交響楽団
	トリオ・アコード (ピアノ三重奏) (神戸女学院小ホール)	7. 10. 5 (1公演)	ヴァイオリン：白井圭 チェロ：門脇大樹 ピアノ：津田裕也
	堤剛×イッサーリス×横坂源×上野通明 (チェロ) (KOBELCO 大ホール)	7. 10. 17 (1公演)	チェロ：堤剛、ステイーヴン・イッサーリス 横坂源、上野通明 ピアノ：沼沢淑音
	菊池洋子 (ピアノ) & 郷古廉 (ヴァイオリン) with N 響の名手たち (KOBELCO 大ホール)	7. 10. 18 (1公演)	ピアノ：菊池洋子 ヴァイオリン：郷古廉 ほか
	児玉桃 (ピアノ) メシアン：鳥のカタログ (神戸女学院小ホール)	7. 11. 16 (1公演)	ピアノ：児玉桃
	尾高忠明指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団 (KOBELCO 大ホール)	7. 11. 30 (1公演)	指揮：尾高忠明 管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団
	前橋汀子 (ヴァイオリン) & 弦楽アンサンブル (KOBELCO 大ホール)	8. 1. 18 (1公演)	ヴァイオリン：前橋汀子 ほか
	小菅優 (ピアノ) ソナタシリーズ 最終回 (神戸女学院小ホール)	8. 3. 21 (1公演)	ピアノ：小菅優

演 目		公演年月日	出演者等
こども・ファミリー向け公演	東京バレエ団「くるみ割り人形」 〔日本バレエ団連盟、NBS 共催〕 (KOBELCO 大ホール)	7. 12. 26 (1公演)	出演：東京バレエ団 演奏：大阪フィルハーモニー交響楽団
	レ・ヴァン・ロマンティーク・トウキョウ with 川口成彦 (フォルテピアノ) (神戸女学院小ホール) *再掲	8. 1. 11 (2公演) *内1公演は一般向け	出演：レ・ヴァン・ロマンティーク・トウキョウ 三宮正満 (オーボエ)、満江菜穂子 (クラリネット)、村上由紀子 (ファゴット)、福川伸陽 (ホルン)、川口成彦 (フォルテピアノ)
その他クラシック・コンサート・リサイタル等	タカーチ弦楽四重奏団 (神戸女学院小ホール)	7. 5. 23 (1公演)	出演：タカーチ弦楽四重奏団
	ミロシュ (ギター) (神戸女学院小ホール)	7. 5. 30 (1公演)	ギター：ミロシュ
	貞松・浜田バレエ ベートーヴェン・ソナタ 〔貞松・浜田バレエ団共催〕 (阪急中ホール)	7. 5. 31 ～6. 1 (2公演)	演出・振付：中村恩恵 出演：貞松・浜田バレエ団
	アリス＝紗良・オット (ピアノ) 〔ytv 共催〕 (KOBELCO 大ホール)	7. 6. 28 (1公演)	ピアノ：アリス＝紗良・オット
	のだめカンタービレの音楽会 〔関西テレビ放送共催〕 (KOBELCO 大ホール)	7. 8. 2 ～3 (2公演)	企画・指揮・お話：茂木大輔 ヴァイオリン：高橋多佳子、三原美沙子、 管弦楽：関西フィルハーモニー管弦楽団
	ティボー・ガルシア (ギター) (神戸女学院小ホール)	7. 9. 28 (1公演)	ギター：ティボー・ガルシア
	辻井伸行 (ピアノ) & A R K ソロイツ 〔ABC テレビ 共催〕 (KOBELCO 大ホール)	7. 10. 19 (1公演)	ピアノ：辻井伸行 ヴァイオリン：三浦文彰 トランペット：セルゲイ・ナカリャコフ、フルート：高木綾子 ほか
	デイヴィッド・ラッセル (ギター) (神戸女学院小ホール)	7. 11. 1 (1公演)	ギター：デイヴィッド・ラッセル
	ヴィジョン弦楽四重奏団 (神戸女学院小ホール)	7. 11. 2 (1公演)	出演：ヴィジョン弦楽四重奏団
	レイフ・オヴェ・アンズネス (ピアノ) (KOBELCO 大ホール)	7. 11. 3 (1公演)	ピアノ：レイフ・オヴェ・アンズネス

演 目		公演年月日	出演者等
その他クラシック・コンサート・リサイタル等	横山だいすけ My Songs Concert 〔民音共催〕 (KOBELCO 大ホール)	7. 11. 11 (1公演)	歌：横山だいすけ
	キリル・ゲルシュタイン & 藤田真央 (ピアノデュオ) (KOBELCO 大ホール)	7. 12. 6 (1公演)	ピアノ：キリル・ゲルシュタイン、藤田真央
	宮川彬良 (ピアノ) & アンサンブル・ベガ ニューイヤー・コンサート (KOBELCO 大ホール)	8. 1. 14	出演：宮川彬良 (ピアノ) & アンサンブル・ベガ
	ベンヤミン・アップル (バリトン) (神戸女学院小ホール)	8. 1. 23 (1公演)	バリトン：ベンヤミン・アップル ほか
	ノトス・カルテット (ピアノ四重奏) (神戸女学院小ホール)	8. 2. 28 (1公演)	出演：ノトス・カルテット
	延原武春指揮 テレマン室内オーケストラ (神戸女学院小ホール)	8. 3. 5 (1公演)	指揮：延原武春 管弦楽：テレマン室内オーケストラ
	創作リサイタル37 DECADANCE ーデカダンスー 〔貞松・浜田バレエ団広報共催〕 (阪急中ホール)	8. 3. 20 ～21 (2公演)	振付：オハッド・ナハリン 出演：貞松・浜田バレエ団
合 計		5 6 事業	6 0 公演

※共催事業：①芸文センターのコンセプトに合致、ラインナップとバランス・整合・補強するもので、②共催者からの提案・事業誘致（営業）によって選定し、③広報券売協力に加え、収支リスク負担・施設設備使用料負担について条件協議を行う事業

② 国内外演劇・ミュージカル・古典芸能公演等（阪急中ホール）

劇場・劇団とのネットワークにより、ストレートプレイ、一人芝居などの演劇をはじめ、ミュージカル、ダンス、狂言、落語など、幅広い層が楽しめる良質で多彩な演目を提供するとともに、シアターコンサート等、芸術文化センターならではの企画を展開。

演 目		公演年月日	出演者等
演劇・ミュージカル等 (良質な作品制作実績のある公共劇場との連携)	みんな鳥になって ＊世田谷パブリックシアターとの連携	7. 7. 25 ～27 (3公演)	演出：上村聡史 出演：調整中
	飛び去る前に ＊東京芸術劇場との連携	7. 12. 27 ～29 (3公演)	演出：ラディスラス・ショラー 出演：調整中

演 目		公演年月日	出演者等
演劇・ミュージカル等 （良質な作品 制作実績のある公共劇場との連携）	シッダルタ ＊世田谷パブリックシアター との連携	8. 1. 10 ～18 (7公演)	演出：白井晃 出演：調整中
	未練の幽霊と怪物 ＊KAAT 神奈川芸術劇場との 連携	8. 3. 7 ～8 (2公演)	演出：岡田利規 出演：調整中
演劇・ミュージカル等（幅広いファンにアピール する公演、エンターテインメント性の高い公演）	こまつ座第 153 回公演 「フロイスーその死、 書き残さずー」	7. 4. 5 (1 公演)	演出：栗山民也 出演：風間俊介、川床明日香、采澤靖起、 久保耐吉、増子倭文江 戸次重幸
	加藤健一事務所 vol. 120 「黄昏の湖～On Golden Pond～」	7. 4. 19 (1公演)	演出：西沢栄治 出演：加藤健一、一柳みる、加藤忍、伊原農、 尾崎右宗、澁谷凜音
	ケムリ研究室 no. 4 「ベイジルタウンの女 神」	7. 5. 22 ～25 (5公演)	演出：ケラリーノ・サンドロヴィッチ 出演：緒川たまき、古田新太、水野美紀、 山内圭哉、坂東龍太、藤間爽子、 尾方宜久、菅原永二、植本純米、 温水洋一、犬山イヌコ、高田聖子
	星が降る時	7. 6. 12 ～15 (5公演)	演出：栗山民也 出演：江口のりこ、那須凜、三浦透子、 近藤公園、山崎大輝、八十田勇一、 秋山菜津子、段田安則
	Take Me Out	7. 6. 27 ～29 (4公演)	演出：藤田俊太郎 出演：玉置玲央、三浦涼介、章平、原嘉孝、 小柳心、渡辺大、陳内将、加藤良輔、 宮下涼太、玲央バルトナー、田中茂弘
	ワンダー 3	7. 7. 4 ～6 (5公演)	演出：ウォーリー木下 出演：井上瑞稀、平間壮一、 永田崇人、松田るか、相場裕樹、 彩吹真央、中村まこと、成河 ほか
	ブラックジャック	7. 7. 31 ～8. 2 (4公演)	演出：栗山民也 出演：調整中
	War Bride—91 歳の戦争 花嫁	7. 9. 5 ～7 (4公演)	演出：日澤雄介 出演：調整中

演 目		公演年月日	出演者等
演劇・ミュージカル等（幅広いファンにアピールする公演、エンターテインメント性の高い公演）	マレーネ・ディートリヒ を知っていますか	7. 9. 28 (1公演)	演出：笹部博司 出演：調整中
	小川絵梨子演出作品	7. 10. 23 ～26 (5公演)	演出：小川絵梨子 出演：調整中
	いいむろなおきマイム カンパニー	7. 11. 15 (1公演)	演出・振付：いいむろなおき 出演：いいむろなおきマイムカンパニー
	竹生企画	7. 12. 6 ～7 (2公演)	演出：倉持裕 出演：調整中
	1 9 9 5	7. 12. 13 ～14 (3公演)	作・演出：ウォーリー木下 出演：調整中
	二兎社公演	8. 1. 4 (1公演)	作・演出：永井愛 出演：調整中
	梅田芸術劇場共催	日程調整中	出演：調整中
	三谷幸喜演出作品	日程調整中	演出：三谷幸喜 出演：調整中
伝統芸能	春爛漫 茂山狂言会 お豆腐狂言会	7. 4. 6 (1公演)	出演：茂山千五郎 ほか
	Cutting Edge Kyogen	7. 8. 9 (2公演)	出演：茂山千五郎 ほか
	淡路人形浄瑠璃特別 公演	7. 10. 4 (1公演)	出演：淡路人形座
	万作萬斎狂言	7. 11. 26 ～27 (2公演)	出演：野村万作、野村萬斎 ほか
落語会	月亭方正独演会	7. 4. 20 (1公演)	出演：月亭方正
	柳家喬太郎独演会	7. 5. 17 (2公演)	出演：柳家喬太郎
	笑福亭松喬独演会	7. 6. 21 (1公演)	出演：笑福亭松喬
	桂吉弥独演会	7. 7. 21 (1公演)	出演：桂吉弥
	桂二葉独演会	7. 8. 31 (1公演)	出演：桂二葉
	特選落語競演会	7. 9. 27 (2公演)	出演：調整中
	桂文珍独演会	7. 11. 8 ～9 (2公演)	出演：桂文珍
	落語会	日程調整中 (1公演)	出演：調整中
	桂吉坊・春風亭一之輔 二人会	日程調整中 (1公演)	出演：桂吉坊、春風亭一之輔

演 目		公演年月日	出演者等
ダンス・	コンドルズ 兵庫スペシャル公演 2025	7. 9. 20 (1公演)	出演：コンドルズ
合 計 3 4 事業 7 8 公演以上			

③ 舞台の楽しみを広げる音楽オリジナル『シリーズ企画』

世界一流の室内楽団をはじめ、地元出身で幅広い活躍を続ける音楽家や、世界の音楽・ダンスを集めた「世界音楽図鑑」、「古楽の愉しみ」によるアーリーミュージック、ジャズなどシリーズ企画により、芸術文化センターならではの良質で親しみやすい幅広いジャンルの公演で音楽系ファンの裾野を広げる。

演 目		公演年月日	出演者等
世界音楽図鑑	北欧の夏至祭 2025 (スウェーデン) (阪急中ホール)	7. 6. 20 (1公演)	出演：ヴェスタノー・バンド
	チャボロ・シュミット (ジプシー・ジャズ・トリオ) (阪急中ホール)	7. 8. 7 (1公演)	ギター：チャボロ・シュミット、 ジュリアン・カティオ ベース：アンソニー・ムッチオ
	ケルティック・クリスマス (ケルト、アイリッシュ音楽) (KOBELCO 大ホール)	7. 12. 3 (1公演)	出演：シャロン・シャノン (アコーディオン)、ザ・ステップ・クルー・トップ4 (アイリッシュダンス)、リアム・オ・メンリィ (ヴォーカル、ピアノ)
古楽の愉しみ	曾根麻矢子 (チェンバロ) (神戸女学院小ホール) *再掲	7. 5. 31 (1公演)	チェンバロ：曾根麻矢子
	高田泰治 (チェンバロ) (神戸女学院小ホール) *再掲	7. 9. 20 (1公演)	チェンバロ：高田泰治
	テオドーロ・バウ (ヴィオラ・ダ・ガンバ) & アンドレア・ブッカレッラ (チェンバロ) (神戸女学院小ホール)	7. 11. 8 (1公演)	ヴィオラ・ダ・ガンバ：テオドーロ・バウ チェンバロ：アンドレア・ブッカレッラ
	レ・ヴァン・ロマンティーク・トウキョウ with 川口成彦 (神戸女学院小ホール) *再掲	8. 1. 11 (2公演)	出演：レ・ヴァン・ロマンティーク・トウキョウ 三宮正満 (オーボエ)、満江菜穂子 (クラリネット)、村上由紀子 (ファゴット)、福川伸陽 (ホルン)、川口成彦 (フォルテピアノ)
	ジャン・ロンドー (チェンバロ) (神戸女学院小ホール)	8. 3. 22 (2公演)	チェンバロ：ジャン・ロンドー

演 目		公演年月日	出演者等
クリスマス・ジャズ・フェスティバル	渡辺貞夫（サククス） （KOBELCO 大ホール）	7. 12. 4 (1公演)	サククス：渡辺貞夫 ほか
	日野皓正（トランペット）クインテット&トランペット四重奏 （KOBELCO 大ホール）	7. 12. 9 (1公演)	トランペット：日野皓正 ほか
	小曽根真（ピアノ）& No Name Horses （KOBELCO 大ホール）*再掲	7. 12. 16 (1公演)	ピアノ：小曽根真 ビッグバンド：No Name Horses
	北村英治 クインテット（クラリネット） （神戸女学院小ホール）	7. 12. 18 (1公演)	クラリネット：北村英治、谷口英治 ほか
	アロージャズオーケストラ （KOBELCO 大ホール）	7. 12. 24 (1公演)	出演：アロージャズオーケストラ ほか
ステップコンサート	東京六人組 （木管五重奏とピアノ） （KOBELCO 大ホール）	7. 10. 25 (1公演)	フルート：上野由恵 オーボエ：荒絵理子 クラリネット：金子平 ファゴット：福士マリ子 ホルン：福川伸陽 ピアノ：三浦友理枝
夜の音楽会	【夜の音楽会～今夜は歌声】 高橋 維（ソプラノ） （KOBELCO 大ホール）	7. 4. 25 (1公演)	ソプラノ：高橋 維 ピアノ：多田聡子
合 計		15事業	17公演

（４） 舞台芸術の普及・県民の創造活動支援

① プロムナード・コンサート、ワンコイン・コンサート等

（ア） プロムナード・コンサート（KOBELCO 大ホール）

人気・実力を兼ね備えた国内演奏家や国外アーティストを招き、親しみやすいプログラムによる低額入場料（2,000 円程度）公演を開催し、広範囲な集客（裾野の拡大）をめざす。

演 目	公演年月日	出演者等
アン セット シス （ピアノデュオ） （KOBELCO 大ホール）	7. 5. 11 (1公演)	ピアノ：山中惇史、高橋優介
カール＝ハインツ・シュッツ（フルート）& 吉野直子（ハープ） （KOBELCO 大ホール）※再掲	7. 6. 8 (1公演)	フルート：カール＝ハインツ・シュッツ ハープ：吉野直子
菊池洋子（ピアノ）& 郷古廉（ヴァイオリン）with N 響の名手たち （KOBELCO 大ホール）※再掲	7. 10. 18 (1公演)	ピアノ：菊池洋子 ヴァイオリン：郷古廉 ほか

演 目	公演年月日	出演者等
堀米ゆず子（ヴァイオリン）&パヴェル・ゴムツィアコフ（チェロ）&田村響（ピアノ） （KOBELCO 大ホール）	7. 11. 24 （1公演）	ヴァイオリン：堀米ゆず子 チェロ：パヴェル・ゴムツィアコフ ピアノ：田村響
アレクサンダー・コ布林（ピアノ） （KOBELCO 大ホール）	7. 12. 20 （1公演）	ピアノ：アレクサンダー・コ布林
前橋汀子（ヴァイオリン）&弦楽アンサンブル （KOBELCO 大ホール）※再掲	8. 1. 18 （1公演）	ヴァイオリン：前橋汀子 ほか
合 計 6 事業 6 公演		

（イ） ワンコイン・コンサート（入場料 500 円）（KOBELCO 大ホール）

県内外音楽コンクール受賞者など兵庫・関西ゆかりの新進気鋭の音楽家による 60 分のコンサートを平日の昼間に開催し、広範囲な集客（裾野の拡大）をめざす。

出 演 者	公演年月日	出演者等
鈴木愛美（ピアノ）	7. 4. 9 （1公演）	大阪府出身。東京音楽大学器楽専攻を首席卒業。第 47 回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、第 92 回日本音楽コンクール第1位、第 12 回浜松国際ピアノコンクール第 1 位。現在、同大学大学院修士課程に特別特待奨学生として在学中。
PAC オーケストラメンバー 森山拓哉& フェリックス・コウ （パーカッション）	7. 5. 9 （1公演）	《森山》兵庫県出身。東京音楽大学卒業（2016～19 年度特別特待奨学生）。2016 年度公益財団法人青山財団奨学生。兵庫芸術文化センター管弦楽団コアメンバー。 《コウ》アメリカ生まれ、台湾育ち。国立台湾大学卒業（科学・哲学）。ニュー・イングランド音楽院で修士号取得。兵庫芸術文化センター管弦楽団コアメンバー。
下林一也（バリトン）	7. 6. 11 （1公演）	滋賀県出身。京都市立芸術大学声楽専攻を首席卒業。卒業時に音楽学部賞受賞。同大学大学院修士課程声楽専攻修了。第 26 回松方ホール音楽賞受賞、第 41 回飯塚新人音楽コンクール第 2 位、第 36 回摂津音楽祭りトルカメリアコンクール金賞（第 1 位）など入賞多数。
渡辺紗蘭（ヴァイオリン）	7. 8. 5 （1公演）	兵庫県出身。第 91 回日本音楽コンクール第 1 位、併せて増沢賞、レウカディア賞、鷺見賞、黒柳賞を受賞。第 25 回松方ホール音楽賞受賞。使用楽器は（一財）ITOH 貸与の 1779 年製 J.B. グァダニーニ。現在、東京音楽大学に特別特待奨学生として在学中。

出 演 者	公演年月日	出演者等
コイチェフ・イヴァイロ (マリンバ)	7. 9. 4 (1公演)	ブルガリア、プロヴディフ市生まれ、兵庫県育ち。兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、京都市立芸術大学音楽学部管・打楽専攻を首席卒業。第 26 回松方ホール音楽賞など受賞多数。2 月からスイス・チューリッヒ芸術大学の修士課程に留学。
北村明日人 (ピアノ)	7. 10. 7 (1公演)	兵庫県出身。第 46 回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリおよび聴衆賞受賞。第 17 回東京音楽コンクールピアノ部門第 2 位。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程を修了。テレビ朝日『題名のない音楽会』、NHK-FM『リサイタル・パッショ』等に出演。
澤村 隼 (チューバ)	7. 11. 26 (1公演)	兵庫県出身。大阪音楽大学を首席卒業。第 24 回日本クラシック音楽コンクールチューバ部門大学生の部第 1 位。第 11 回秋吉台コンクールチューバ部門第 2 位。元テジョン市立交響楽団契約首席チューバ奏者。現在、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団チューバ奏者。
三原 萌 (フルート)	7. 12. 17 (1公演)	兵庫県出身。全日本学生音楽コンクール全国大会第 3 位など入賞多数。東京音楽大学卒業後、ウィーン国立音楽大学を最優秀の成績で卒業。フランクフルト音楽大学在学中に兵庫芸術文化センター管弦楽団へ入団するため帰国。現在、大阪交響楽団首席フルート奏者。
井上 玲 (リコーダー)	8. 2. 17 (1公演)	大阪府出身。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程を大学院アカンサス音楽賞を得て修了。第 32 回国際古楽コンクール〈山梨〉第 3 位(第 1 位なし)、第 11 回テレマン国際古楽コンクール(ドイツ) 第 2 位および聴衆賞受賞。
村岡 瞳 (ソプラノ)	8. 3. 10 (1公演)	奈良県出身。大阪音楽大学声楽専攻卒業、同大学大学院声楽研究室オペラ系修了。ウィーン国立音楽大学音楽セミナーマスタークラスディプロマ取得。第 70 回全日本学生音楽コンクール大阪大会第 2 位、全国大会入選。現在、大阪音楽大学演奏員。
合 計		10 事業 10 公演

<音楽事業アドバイザー会議>

センターの主催する音楽事業の中で、兵庫・関西ゆかりの若手アーティスト・人材を登用する普及事業（ワンコイン・コンサート等）の出演者候補について発掘・審議するため、音楽事業アドバイザー会議を開催

(アドバイザー)

中村孝義（大阪音楽大学名誉教授、元大阪音楽大学理事長・学長）、藤本賢市（神戸新聞姫路本社）、青木さやか（読売新聞大阪本社）、小味渕彦之（音楽評論家）

(ウ) ワンコイン・コンサート NO.1 アーティスト アンコール・リサイタル

2024 年の出演アーティストの中から選出（神戸女学院小ホール）

演 目	公演年月日	出演者等
尾城杏奈（ピアノ）	8. 3. 27	大阪府出身。東京藝術大学、同大学大学院を経て、パリ・エコールノルマル音楽院在学中。第 44 回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ。2024 年、コニャック国際ピアノコンクール第 1 位、パリ国際ピアノコンクール第 1 位など国内外での入賞多数。
合 計		1 事業 1 公演

(エ) ワンコイン・コンサート出演者お披露目 新春・顔見世コンサート

次年度ワンコイン・コンサート出演者と新年を祝うコンサート（KOBELCO 大ホール）

演 目	公演年月日	出演者等
次年度ワンコイン・コンサート出演者お披露目 新春・顔見世コンサート	8. 1. 3 (1公演)	次年度ワンコイン・コンサート出演者
合 計		1 事業 1 公演

(オ) ワンコイン・プレ・レクチャー（阪急中ホール）

芸術監督プロデュースオペラをより楽しんでもいただくため、オペラ歌手によるハイライトコンサートを開催。また、専門家、演奏家等のレクチャー・トークを実施し、広範囲な集客（裾野の拡大）をめざす。

演 目	公演年月日	出演者等
「さまよえるオランダ人」 ハイライトコンサート ～ええとこどり！*再掲	7. 4. 16 ～17 (2公演)	出演：渡邊美智子（ソプラノ）、湯浅貴斗（バス・バリトン）、的場正剛（バリトン）、加護翔大（テノール） 伊原敏行（ピアノ&お話）、西尾麻貴（ピアノ）、清原邦仁（テノール／構成・ステージング）
	7. 4. 19	丹波篠山市立田園交響ホール
	4. 20	洲本市文化体育館文化ホール しばえもん座
	4. 26	赤穂市文化会館 小ホール
	4. 27	市川町文化センター ひまわりホール
	4. 29	三田市郷の音ホール 小ホール
	5. 5	西神中央ホール（神戸市）
	5. 6	稲美町立文化会館 コスモホール
	5. 10	養父市立やぶ市民交流広場ホール
「さまよえるオランダ人」 ワンコイン・プレ・レクチャー *再掲（阪急中ホール）	5. 11 (9公演)	明石市市民会館 大ホール
	7. 6. 5 (2公演)	講師：三澤洋史（指揮者・合唱指導者・作曲家） ※同日 2 回
合 計		2 事業 1 3 公演 9 公演（県内公演）

(カ) ドリーム・コンチェルト (KOBELCO 大ホール)

ワンコイン・コンサート出演者と芸術文化センター管弦楽団によるスペシャル・
コンサートを開催

演 目	公演年月日	出演者等
ドリーム・コンチェルト *冠協賛：西宮ロータリークラブ H24 年から 15 回目 協賛継続	7. 4. 19 (1公演)	指揮：原田慶太楼 サクソフォン：崔勝貴 フルート：山本英 箏：橋本桂子 ピアノ：水谷友彦 ヴァイオリン：岸本萌乃加 ギター：山口莉奈 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団
合 計 1 事業 1 公演		

(キ) 舞台芸術団体フェスティバル (共催) (県域団体)

演 目		公演年月日	主催団体
KOBELCO 大ホール	2025 年度兵庫県合唱コンクール 小学生・中学校・高等学校の部	7. 8. 16	兵庫県合唱連盟
	第 52 回兵庫県交響楽祭	7. 9. 28	兵庫県オーケストラ協議会
阪急中ホール	Chain 3	7. 8. 10	河合美智子モダンダンススタジオ
	音楽劇「6 年 3 組の阪神大震災」～30 周年メモリアル公演	7. 8. 17	劇団自由人会
	ひょうご邦楽の祭典	7. 9. 14	兵庫県箏絃連盟
	劇団道化座 75 周年・須永克彦 七回忌追悼公演「母の肖像」	7. 9. 26	劇団道化座
神戸女学院小ホール	歌とピアノで綴るソロとアンサンブルの夕べ	7. 8. 11	神戸オペラカンパニー
	面白い！笑える！でも凄い！それがブラビッシモ	7. 8. 31	尼崎市文化団体協議会/尼崎ピアノ音楽協会
	万葉うたがたりコンサート	7. 9. 3	西宮文化協会/岡本三千代と万葉うたがたり会
	We Love Marimba コンサート	7. 9. 7	神戸マリンバソサエティ
	アンサンブル・フェスティバル 兵庫 2025	7. 9. 14	兵庫県音楽活動推進会議
	季コンサート vol. 12	7. 9. 27	神戸クラシック協会
合 計			1 2 事業 1 2 公演

② ピッコロ劇団公演（共催）（阪急中ホール）

演 目	公演年月日	出演者等
ファミリー劇場 「タラレバ幽霊とタカラ の山」	7. 12. 20 ～21 (3公演)	台本＝谷口雅美・原 竹志（ピッコロ劇団） 演出＝原 竹志（ピッコロ劇団） 出演＝ピッコロ劇団員
兵庫県立ピッコロ劇団 第 84 回公演 ピッコロシ アタープロデュース 「リア王の悲劇」	8. 2. 14 ～15 (5公演)	作＝シェイクスピア 翻訳＝河合祥一郎 （角川文庫「新訳リア王の悲劇」） 演出＝松本祐子（文学座） 出演＝ピッコロ劇団員 ほか
合 計 2 事業 8 公演		

2 兵庫芸術文化センター管弦楽団事業

兵庫県立芸術文化センター専属のプロオーケストラとして、毎年世界各地でオーディションを実施し、優秀な若手演奏家を中心に構成する兵庫ならではのユニークな『フレッシュでインターナショナル』なオーケストラ。また、兵庫から世界に人材を育て発信する『オーケストラアカデミー』の要素も有する「兵庫芸術文化センター管弦楽団」では、①定期演奏会の開催、プロデュースオペラ公演への出演をはじめ、②室内楽演奏会や③県内各地でのアウトリーチ活動など、「パブリックシアター」の顔にふさわしい多彩な活動を展開していく。（県内 41 市町一巡達成 H26.4 月）

- コアメンバー（10 型 2 管）をベースに、レジデント・プレイヤーを加え 12 型（標準）、アソシエイト・プレイヤーを加え 14 型（大規模編成）にも安定的・フレキシブルに対応。
- クオリティの高い演奏を提供するとともにアカデミーとしてコアメンバーをリードするため弦パート・トップ中心に「ゲストトップ」奏者（国内オーケストラ首席級）を招聘
 - ・芸術監督：佐渡裕 ・レジデント・コンダクター：岩村力
 - ・コンサートマスター：田野倉雅秋、豊嶋泰嗣（アドバイザー兼務）
 - ・セクションアドバイザー（R6.9～）：西谷牧人、ロバート・ホルショス、オットー・クリストフオリ
 - ・コアメンバー：14 パート 48 人
(10 型 2 管編成、35 歳以下、3 年契約、全国・世界各地でのオーディションで選抜)
(令和 6 年 9 月現在：9 カ国 14 パート 44 人 平均年齢 27.1 歳)

(1) 演奏会活動

フレッシュでインターナショナルなオーケストラの魅力ある演奏会を実施

① 定期演奏会（KOBELCO 大ホール）

佐渡裕芸術監督をはじめ、世界一流の客演指揮者やソリストを招聘し、古典から現代曲までの魅力あるレパートリーを、大小さまざまな編成で演奏し、質の高い芸術性を追求する。

演 目	公演年月日	出演者等
〔2024-2025 シーズン〕 第 159 回 チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲	7. 5. 23 ～25 (3公演)	指 揮：ミハイル・プレトニョフ ヴァイオリン：前田妃奈
第 160 回 ハイドン：ピアノ協奏曲	7. 6. 20 ～22 (3公演)	指 揮：ユベール・スダーン ピアノ：児玉桃
第 161 回 ブリテン：戦争レクイエム	7. 8. 8 ～10 (3公演)	指 揮：佐渡裕 室内オーケストラ指揮：齋藤友香理 ソプラノ：並河寿美 テノール：清水徹太郎 バリトン：キュウ・ウォン・ハン 合 唱：ブリテン「戦争レクイエム」合唱団
〔2025-2026 シーズン〕 第 162 回 ブルックナー：テ・デウム	7. 9. 12 ～14 (3公演)	指 揮：佐渡裕 ソプラノ：並河寿美 アルト：清水華澄 テノール：小原啓楼 バ ス：青山貴 合 唱：ブルックナー「テ・デウム」合唱団

演 目	公演年月日	出演者等
第 163 回 メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲	7. 10. 10 ～12 (3公演)	指 揮：アンドレアス・オッテンザマー ヴァイオリン：ヴェロニカ・エーベルレ
第 164 回 ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第 4 番	7. 11. 7 ～9 (3公演)	指 揮：サッシャ・ゲッツェル ピアノ：河村尚子
第 165 回 ベートーヴェン：交響曲第 9 番 「合唱付き」	7. 12. 12 ～14 (3公演)	指 揮：佐渡裕 ソプラノ：ハイディ・ストーバー メゾソプラノ：清水華澄 テノール：リッカルド・デッラ・シュッカ バリトン：グスターボ・カステイーリョ 合 唱：ベートーヴェン第 9 合唱団
第 166 回 ガーシュイン：ピアノ協奏曲	8. 1. 23 ～25 (3公演)	指 揮：佐渡裕 ピアノ：上原ひろみ
第 167 回 コルゴルト：ヴァイオリン協奏曲	8. 2. 20 ～22 (3公演)	指 揮：原田慶太楼 ヴァイオリン：レイ・チェン
第 168 回 プロフィエフ：交響的協奏曲	8. 3. 13 ～15 (3公演)	指 揮：ピエタリ・インキネン チェロ：北村陽
第 169 回 ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲	8. 6. 12 ～14 (3公演)	指 揮：下野竜也 ヴァイオリン：五明佳廉
第 170 回 マーラー：交響曲第 1 番「巨人」	8. 8. 7 ～9 (3公演)	指 揮：佐渡裕
合 計 10 事業 30 公演（令和 7 年度）		

*2024-2025 シーズン定期会員数 4,208（金曜 1,401, 土曜 1,427, 日曜 1,380）

② 特別演奏会

名曲コンサート、ファミリーコンサート、ポップスコンサートなど親しみやすい公演により幅広い観客ニーズに応え、クラシックファン層を広げる。

演 目	公演年月日	出演者等
春休み子どものためのオーケストラ・コンサート (KOBELCO 大ホール)	7. 4. 5 (1公演)	指 揮：岩村力 ゲスト：ガチャピン、ムック
リサイタルシリーズ (神戸女学院小ホール)	7. 8. 1 (1公演)	ヴァイオリン：小椋小野花 ヴィオラ：ソフィア・サン
アジア・オーケストラ・ウィーク (KOBELCO 大ホール)	7. 10. 4 7. 10. 13 (2公演)	出 演：芸術文化センター管弦楽団 (10/4) 香港フィルハーモニー交響楽団 (10/13) *アジア太平洋地域から各国を代表するオーケストラを招聘するフェスティバル（共催：文化庁、制作：日本オーケストラ連盟）

演 目	公演年月日	出演者等
開館 20 周年記念コンサート (KOBELCO 大ホール)	7. 12. 11 (1公演)	指 揮：佐渡裕 ソプラノ：ハイディ・ストーバー メゾソプラノ：清水華澄 テノール：リッカルド・デッラ・シュッカ バリトン：グスターボ・カステイリョ 合 唱：ベートーヴェン第9合唱団
合 計 4 事業 5 公演		

③ 室内楽演奏会（神戸女学院小ホール）

バロックから現代曲まで、さまざまなレパートリーを多様な編成で演奏し、室内楽の魅力を伝える。芸術文化センター管弦楽団コアメンバーと特別契約奏者との組み合わせ。幅広い編成で高度な公演を実現。

演 目	公演年月日	出演者等
室内楽シリーズ	第 83 回 PAC PERCUSSION! 打楽器セクション	7. 4. 26 (1公演) パーカッション：エリック・サミュ
	第 84 回 PAC STRINGS! 弦楽器セクション	7. 5. 17 (1公演) ヴァイオリン：安永徹 ピアノ：市野あゆみ
	第 85 回 PAC WINDS 木管楽器セクション	7. 6. 14 (1公演) フルート：パトリック・ウィリアムズ
	第 86 回 調整中	8. 3. 7 (1公演) 調整中
合 計 4 事業 4 公演		

④ センター事業への出演 3 事業 9 公演（再掲）

佐渡芸術監督のプロデュースするオペラ・コンサート公演等で演奏

（２） 体験教育・普及活動

① 青少年芸術体験事業「わくわくオーケストラ教室」の実施 40 公演 KOBELCO 大ホール

兵庫県内の中学 1 年生（約 4 万 5 千人全員）を対象に、本格的な交響楽団の演奏に親しむ機会を設けることにより、これからの社会を担う生徒の豊かな感性、創造力を育むとともに、音楽教育（体験教育）の振興を図る。

【企 画】佐渡裕芸術監督 【指 揮】岩村力（レジデント・コンダクター）ほか

【内 容】第 1 部 参加・体験コーナー：ホールの紹介、楽器紹介
第 2 部 鑑賞コーナー：楽曲の紹介、演奏会

【公演時間】約 1 時間（70 分）

【時 期】令和 7 年 5 月 28 日（水）～令和 8 年 1 月 30 日（金）

② アウトリーチ活動

芸術文化センターからの遠隔地域や日頃音楽に触れる機会の少ない方々に音楽の魅力・感動を伝え、音楽の普及と楽団の PR を図るため、アウトリーチ活動を展開し、活動先に

については公募制度も導入・実施（医療機関、福祉施設、小中高等学校、参画と協働を実践する地域活動への参加等）

＊平成 29 年度～小学校・特別支援学校を対象としたアウトリーチ（公募により募集）を重点実施

③ スーパーキッズ・オーケストラ公演

令和 7 年 8 月 3 0 日（土）～ 3 1 日（日） 2 公演 KOBELCO 大ホール

（３） 多彩な演奏活動

楽団の魅力を広く県内・全国へ P R（県内外からの依頼公演等）

① 県内外ホールと連携した演奏活動

（ア）佐渡裕芸術監督指揮によるコンサート

加東市（コスミックホール）

9 月 1 5 日（月・祝）

明石市（明石市民会館）

9 月 1 8 日（木）

② 幅広いニーズに対応した演奏活動

（ア）1 万人の第九 in EXPO（万博会場）

4 月 1 3 日（日）

（イ）映像の世紀コンサート（KOBELCO 大ホール）

5 月 2 日（金）

（ウ）武庫川コンチェルト（甲子園会館）

1 1 月 1 6 日（日）

（エ）須磨学園コンサート（神戸国際会館）

1 2 月 1 日（月）

（オ）1 万人の第九（大阪城ホール）

1 2 月 7 日（日）

（４） コアメンバー演奏力の強化

① P A C シーズン・オープニング・フェスティバル（ミュージックキャンプ）

若手育成という当楽団の性格から、そのミッションの一つであるアカデミー機能のより一層の強化、充実を目的に、シーズン・スケジュールの初め（9 月）に国内外より著名な指導者陣（スペシャル・ゲスト・プレイヤー）を招き、オーケストラのレベルアップに不可欠なアンサンブル力の強化を図る（ミュージックキャンプ）。

また、芸術文化センターだけでなく、県内市町の文化施設においても開催（共同主催）することで、地域における音楽文化の発展に寄与する（フェスティバル）。

【時 期】令和 7 年 9 月 2 日（火）～ 9 月 6 日（土）5 日間

＊その直後の佐渡監督指揮・第 162 回定期演奏会（9/12～9/14）に成果を繋げる

【会 場】丹波篠山市立田園交響ホール

【内 容】①室内楽プログラム（スペシャル・ゲスト・プレイヤーのリーダーシップ）

②オーケストラプログラム（指揮：佐渡芸術監督）

③アウトリーチコンサート、④リハーサル公開、マスタークラス 等

【スケジュール】9 月 2 日（火）～ 9 月 3 日（水）シーティングオーディション等実施（芸文センター）

9 月 4 日（木）～ 9 月 6 日（土）リハーサル・公演、マスタークラス、公開リハーサル、アウトリーチ等実施（丹波篠山市）

【出 演】佐渡裕（指揮・芸術監督）

兵庫芸術文化センター管弦楽団（コアメンバー）

スペシャル・ゲスト・プレイヤー（調整中）

（開催地）平成 25 年洲本市⇒平成 26 年豊岡市⇒平成 27 年洲本市⇒平成 28 年篠山市⇒平成 29 年赤穂市⇒平成 30 年篠山市
⇒令和元年明石市⇒令和 2 年洲本市（中止）⇒令和 3 年養父市（合宿のみ）⇒令和 4 年養父市⇒令和 5 年洲本市⇒令和 6 年多可町

- ② 世界トップ級の奏者を、ソリスト、客演コンマス、パートトップとして招聘（特別契約演奏者）し、当楽団との共演、指導（マスタークラス）により、コアメンバーが世界一流の演奏技術などを体感できる機会を設ける。

（５） 東日本大震災復興祈念等の継続的な取組

- ・スーパーキッズ・オーケストラの継続的な東日本大震災被災地訪問演奏活動

- ・東日本大震災復興祈念等事業資金

センター職員が、外部の委員会（芸術文化関連）の委員として従事したり、大学等で講義・講演を行う場合の報酬等や大口の寄附金収入等を「東日本大震災復興祈念等事業資金」として管理し、被災地への支援活動を行い有効活用。

- （ア） 財源：寄附金、表彰副賞、委員謝金等

＊第２回貝原俊民美しい兵庫づくり賞副賞（地域政策研究会 500 千円）、神戸新聞平和賞副賞（神戸新聞 300 千円）、福島原発事故賠償金（東京電力 7,386 千円）

大口の寄附金（H25:2,000 千円、H26:4,000 千円、H28:3,182 千円、H29:55,500 千円）等

＊委員謝金：43 件 1,533 千円、講師謝金：72 件 12,413 千円（H23～R5）

- （イ） 充当事業

- （a）スーパーキッズ・オーケストラによる被災地訪問演奏

- （b）PACメンバーによる被災地アウトリーチ活動

- （c）プロデュースオペラ、楽団定期演奏会等への被災者招待 等

- ・スーパーキッズ・オーケストラ事業推進資産

サントリーホールディングス（株）がスーパーキッズ・オーケストラの設立趣旨や東日本大震災復興祈念活動に賛同して寄附（平成 26 年度）いただいた 150,000 千円を原資に東北への訪問、合宿等の事業活動（平成 27 年度から 10 年間）を展開（サントリー「東北サンさんプロジェクト」の一環）、令和 7 年度以降も同事業へ支援。

＜ホール別の主催事業数・公演数＞

区 分	芸術文化センター事業		芸術文化センター管弦楽団事業		主催事業 計
	主催事業	舞台芸術団体フェスティバル 等	演奏活動	青少年芸術体験事業	
KOBELCO 大ホール	52 事業 59 公演	2 事業 2 公演	14 事業 36 公演	1 事業 40 公演	69 事業 137 公演
阪急 中ホール	44 事業 95 公演	6 事業 12 公演	—	—	50 事業 107 公演
神戸女学院 小ホール	27 事業 29 公演	6 事業 6 公演	5 事業 5 公演	—	38 事業 40 公演
小計	123 事業 183 公演	14 事業 20 公演	19 事業 41 公演	1 事業 40 公演	157 事業 284 公演
外部公演	9 公演	—	1 事業 1 公演	—	1 事業 10 公演
楽団外部依頼公演	—	—	7 事業 7 公演	—	7 事業 7 公演
計	123 事業 192 公演	14 事業 20 公演	27 事業 49 公演＊	1 事業 40 公演	165 事業 301 公演
【基準】	【36 事業 58 公演】		【48 公演】	【40 公演】	【146 公演】

＊センター事業への出演公演数は含まない。

〔注１〕 上記のほか普及事業開催：広報普及イベント（公開リハーサル、レクチャー・トーク、ワークショップ、バックステージツアー、企画展示、西北活性化協議会イベント等）、楽団アウトリーチ活動等

3 芸術文化センター広報・普及活動

(1) 広報活動

① 多面的な広報宣伝活動

新聞・テレビ・DM・WEB・メルマガといった様々なメディアを組み合わせるクロスメディア展開により、芸文センターの認知度向上や新たなファンの発掘・裾野拡大、チケット購買促進を図る。

(ア) 記者会見等の実施

メディア取材を誘致するために、記者会見、取材会、プレスリリースなどを積極的に実施する。

(イ) 広告宣伝の実施

チケット購買促進のために、様々なメディアを活用して効果的な広告宣伝を実施する。

② 自主媒体による展開

(ア) 情報誌「ひょうご舞台芸術」の発行【年2回／各6万部】

実施した主催公演を特集した情報誌を半年ごとに発行。先行予約会員ほか、各公共施設等に配布し、芸文センターの舞台芸術を紹介する。

(イ) 会報誌の発行【月1回／45,000～60,000部】

先行予約会員向けに主催公演の発売案内とチラシと一緒に送付することにより、チケット購買促進を図る。

(ウ) 「公演スケジュール」の発行【月1回／各6,000部】

主催・貸館公演を一覧にした月間スケジュールを発行し、記者や県内施設等に配布して、芸文センター事業を広く周知。

(エ) 芸文センターWebサイトの運営 (<https://www.gcenter-hyogo.jp>)

芸文センターの周知及びチケット購買促進を図る。

【主な内容】ニュース&トピックス、施設予約、公演チケット販売など

(オ) 特設Webサイト等の運営

(a) 佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ特設サイト

プロデュースオペラ2025「さまよえるオランダ人」を紹介する。

【内容】作品・キャスト等の紹介、最新ニュース、過去のオペラ等

(b) 兵庫芸術文化センター管弦楽団特設サイト (<https://hpac-orc.jp/>)

楽団の周知及び活動を紹介する。

【内容】演奏会情報、メンバーの紹介、活動紹介、公募情報、最新ニュース等

(c) 開館20周年記念WEBページ

20周年にふさわしい特別公演等を紹介する。

【内容】公演情報、最新ニュース・メッセージ、これまでの芸文センターの歩みを振り返るフォトギャラリー等

(カ) メールマガジンの発行【月1回以上／約3万人】

発売日前に発売公演情報等を配信するとともに、随時、臨時号を発行する。

(キ) SNSの活用

(a) 公式Xアカウント

芸文センターWEBサイト掲載の発売情報やニュース&トピックスなどの情報を拡散する有効な手段として活用する。

(b) 管弦楽団(PAC)公式Xアカウント

楽団に特化した情報を配信する。

(c) プロデュースオペラ公式Xアカウント

オペラに特化した情報を配信する。

(d) プロデュースオペラ公式 Instagram アカウント

オペラの練習風景などの動画を配信する。

(ク) 動画の配信

(a) 楽団公式 YouTube の活用

定期演奏会のライブ映像やゲスト奏者の紹介映像を全世界に発信し、楽団及び楽団員の活動を紹介するとともに、国内外の優秀な若手演奏家の楽団入団を促進。

③ 芸術文化センター先行予約会員制度（無料会員）

【特 典】チケット先行発売（価格割引なし）インターネット購入

会報誌（先行予約会員 NEWS）・公演チラシ送付

情報誌「ひょうご舞台芸術」送付

【会員数】65,435 人（県内 36,452 人・県外 28,983 人 [令和 7 年 1 月 12 日現在]）

④ チケット販売体制

(ア) チケットオフィスの運営

プレイガイドの電話受付が縮小する中、インターネット環境のない人に対応するため、他の劇場では類を見ない充実した電話受付体制を取るとともに、柔軟な増員対応で電話受付や窓口の混雑緩和を図り、顧客満足度向上を図る。

電話受付の通話録音及び音声自動応答システムにより聞き間違いを防止するなど、サービス品質向上を図るとともに、混雑時でもつながりやすいように問い合わせ専用の電話窓口を設ける。

(イ) チケット販売・会員管理システムの運営

チケット発売日のアクセス集中時でも安定稼働し、利用しやすいオンラインシステムを目指すとともに、「改正個人情報保護法」に対応したセキュリティ対策を講じる。

(2) 主催事業と連動した普及事業等

主催事業の制作過程や事業内容を観客にわかりやすく理解を深め楽しめるものとするため、楽団の公開リハーサルや芸術監督プロデュースオペラのワークショップ等を実施。

① 公開リハーサル

(ア) 佐渡芸術監督プロデュースオペラ

「さまよえるオランダ人」公開リハーサル（KOBELCO 大ホール）

【日 程】令和 7 年 7 月 16 日（水）、17 日（木）

(イ) 楽団「定期演奏会」公開リハーサル（KOBELCO 大ホール）

定期会員を対象に「定期演奏会」の公開リハーサルを実施 [各 1 回、計 10 回]

② ワークショップ

オペラ創造ワークショップ「さまよえるオランダ人」の制作アトリエ（KOBELCO 大ホール）

【日 程】令和 7 年 7 月 18 日（金）

【登壇者】佐渡裕（指揮・芸術監督） ほか

③ バックステージツアー

一般の方を対象に、普段、目にすることのできない劇場の舞台裏や舞台機構、公演準備作業の様子などを案内する見学会を開催。

内 容		開催日
兵庫県立芸術文化センターのなるほどバックステージツアー2025		
第1回	なるほど「KOBELCO 大ホール」編	7. 6. 14 (2回)
第2回	夏休みの「わくわく探検隊ツアー」	7. 8. 23 (2回)
第3回	なるほど「阪急中ホール」編	7. 9. 18 (2回)
第4回	なるほど「PAC オーケストラ」編	7. 10. 29 ～30 (2回)
第5回	なるほど「建物と仕事人」編	7. 11. 18 (2回)
第6回	なるほど「神戸女学院小ホール」編	8. 1. 20 (1回)
合 計		6 事業 11 回

④ 企画展示（共通ロビー情報コーナー「ポッケ」）

（ア）バレエ・コレクション企画展示（年2回）

故薄井憲二氏（舞踊家、日本バレエ協会元会長）の貴重なバレエ・コレクションを活用し、その全貌を紹介することでバレエの歴史を概観する。

（イ）主催事業関連企画展示

自主企画公演等と連動した展示を行い事業の効果的なPRを図る。

【時期】令和7年7月（プロデュースオペラ「さまよえるオランダ人」）ほか

⑤ 薄井憲二バレエ・コレクション

故薄井憲二氏が世界各地から収集した世界有数の規模を誇るバレエ関連資料（書簡、プログラム、絵画・ポスター、書籍等約6,500点）、同バレエ・コレクションの概要、展示情報などをインターネットで配信するとともに、美術館等での展示やバレエ公演のパンフレットのために貸し出す。

（3）開館20周年記念事業「オープンデー2025」の開催

「はばたく！ひろがる！心の広場」をキャッチコピーに展開する開館20周年記念事業の一環として、「オープンデー」を開催し、施設の無料開放のほか、これまで劇場に足を運んだことのない方々にも足を運んでいただけるような企画をお届けする。

【実施日】令和7年11月29日（土）

【内 容】施設の無料開放、特別イベントの実施

4 施設の管理運営事業（発表・交流の場の提供）

施設運営の基本コンセプト

- ① 発信する劇場としてセンター・楽団自主企画事業を中心に運営
- ② 専門性の高い劇場（機能・設備・スタッフ）の特性が生かされる舞台芸術公演の利用促進
- ③ 県民の多様な創造活動の発表の場、劇場空間への親しみ・交流機会を通じて芸術文化の裾野拡大
- ④ フレキシブルで使い勝手の良い運営、開放性と賑わいで街づくりの一翼を形成

（１）施設の管理運営

* 施設利用（貸館）受付の状況

（i）本格的舞台芸術公演の優先利用受付（18 か月前受付）

毎月 1 日から 18 か月後の月分を受付

（ii）一般（貸館）利用受付

a ホール（12 か月前受付）

毎月 1 日に翌年度の当該月分を受付。受付開始後は 4 か月前の末日までに随時受付。

【ホール利用計画】 令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月（令和 7 年 3 月現在）

ホール	開館日数		利用日数		利用日数内訳	
					主催事業	貸館事業
	基準	計画	基準	計画	計画	計画
KOBELCO 大ホール	2 9 0	3 0 7	2 0 3 (70%)	2 6 5 (130.5%) [96.3%]	2 0 2 [76.2%]	6 3 [23.8%]
阪急 中ホール		2 9 9		2 6 7 (131.5%) [89.3%]	2 0 7 [77.5%]	6 0 [22.5%]
神戸女学院 小ホール		3 0 6		3 0 5 (150.2%) [99.7%]	7 6 [24.9%]	2 2 9 [75.1%]

※ 基準：県収支枠組における施設維持管理費、スタッフ配置、施設使用料収入の算定基礎としたもの

※ 利用日数の（ ）内：利用日数（基準）と比較した利用率、[]内：開館日数（計画）と比較した利用率

※ 利用日数内訳の[]内：利用日数（計画）と比較した利用率

b スタジオ、リハーサル室（3 か月前受付）

毎月 1 日に 3 か月後の月分を受付。受付開始後は、前日まで随時受付。

* 舞台芸術専門スタッフによる公演サポート（創造支援）

舞台技術（舞台、音響、照明）専門スタッフをはじめ各部門の専門スタッフにより、施設利用者の創作・発表を企画段階から様々な角度より支援する。

① 人材育成

（ア）舞台技術関係者等の育成

舞台技術の現場に携わるスタッフや舞台技術専攻学生等を対象に、センターの舞台設備を活用して、劇場のあり方・技術向上の観点から舞台技術を継承・発展、創造活動支援を促進（舞台技術セミナー 2 月開催予定）。

(イ) **アートマネジメント関係の人材育成**

将来を担う人材育成のための実践的なセミナーなどを業界関係者や大学等と連携して実施。

- (a) アートマネジメント講座の開催（2～3月）
アートマネジメントに必要な専門的知識・技術の習得を目的として開催
- (b) 大学でのアートマネジメント講座
大学「アートマネジメント講座」への講師派遣（通年）
大阪芸術大学、武庫川女子大学
- (c) トライやる・ウィーク 中学2年生受入（5月～6月）
- (d) 社会人研修受入
- (e) 芸術文化観光専門職大学の臨地実務実習受入

② **地域連携・にぎわいづくり事業**

(ア) **プロデュースオペラ「さまよえるオランダ人」前夜祭（再掲）**

「さまよえるオランダ人」のロングラン公演の成功を祝し開催

【時 期】令和7年7月18日（金）

【内 容】①「さまよえるオランダ人」関連ミニコンサート
②参加者全員での「にしきたずっと節」ほか

【主 催】西北活性化協議会

(イ) **<LALALA にしきたミュージシャン・コンテスト 2025（第18回）>**

“にしきたを音楽の街に”をテーマに、街のアーティストの活動支援を行う。

【時 期】令和7年10月29日（水）（阪急中ホール）（決戦）

（予選：令和7年9～10月実施）

【内 容】ジャズ・クラシック・軽音楽・コーラス等

【主 催】西北活性化協議会

(ウ) **クリスマス・イベント**

【時 期】令和7年12月（芸術文化センター1階メインエントランス）

【主 催】西北活性化協議会

*** 地元企業との連携**

県内外からのお客様へのホスピタリティの向上の一環として、常日頃から関係の深い地元企業職員をホールに招き相互研修会を開催（阪急タクシー、阪急西宮北口駅）。

(2) **公立ホール等との連携**

① **公立文化施設協議会等**

兵庫県公立文化施設協議会（加盟38ホール）会長（事務局）、全国公立文化施設協会近畿支部、多面・大規模舞台劇場協議会、劇場、音楽堂等連絡協議会メンバーとして県内外ホール間の連携を深める。

② **公共劇場舞台技術者連絡会**

公共劇場舞台技術者連絡会（公立の劇場やホールで舞台芸術を支える劇場技術者が連携して平成21年設立：加盟27ホール）の顧問として、舞台技術員が参画し、各劇場間の諸問題の調査研究、情報交換等を通して、公演の円滑な進行管理と安全確保、技術的専門性の確立を目指す。

③ 主な全国の公立ホール整備への支援

センター職員の委員就任や視察受入、講演等を通じてアドバイス。

【参考】 ・仙台市（宮城県）：「兵庫・芸術文化センター」をモデルに復興のシンボルとして「新音楽ホール」整備をめざし、平成 29 年に「音楽ホール検討懇話会」を設置。令和 4 年、音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点との複合整備と、青葉山交流広場への立地を発表。令和 6 年基本設計業者が決定し、総括アドバイザーが（仮称）国際センター駅北地区複合施設管理運営アドバイザーに委嘱された。

・堺市（大阪府）：旧市民会館にかわる「フェニーチェ堺」（堺市民芸術文化ホール）を新設。平成 28 年度建設工事着手。令和元年 10 月 1 日オープン。

・枚方市（大阪府）：老朽化した市民会館に替わる「総合文化施設」（枚方市総合文化芸術センター）を整備。平成 27 年 2 月に公募型プロポーザル方式により設計事業者選定。平成 27 年度設計業務着手。平成 29 年度着工、令和 2 年度に総括アドバイザーが文化芸術振興審議会委員に就任。令和 3 年 8 月 30 日オープン。

・高槻市（大阪府）：老朽化した市民会館の建替。平成 27 年度基本計画策定。平成 28 年度設計業務。令和元年度建設工事着手、令和 5 年 3 月 18 日オープン。

・姫路市：姫路市文化事業の推進のため、姫路駅東側のキャスティ 21 イベントゾーン内に「知と文化・産業の交流拠点」をコンセプトに文化コンベンション施設を整備。「姫路市文化コンベンションセンターアクリエ姫路」として令和 3 年 9 月 1 日オープン。

・札幌市：札幌市の文化事業振興のため、平成 30 年に完成した札幌文化芸術劇場に導入する舞台機構のシステム構築に係る助言を求められ、舞台機構アドバイザーとして当センターの舞台技術の専門職員を意見交換会に派遣（平成 29 年度）。

・養父市：職員が専門委員に就任。令和 3 年 9 月 14 日オープン。

＊その他、全国から視察を受入（令和 4 年度：鳥取県文化振興財団、広島県庁、宮城県庁、いわき芸術文化交流館、静岡県議会、淡路教育事務協議会、東京都港区議会、仙台市議会、秋田県庁、令和 5 年度：仙台市役所、長野県議会）

（３） 各ホールネーミングライツ・スポンサー

【愛称の使用期間】

令和 5 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで（3 年間） ＊ 6 期目

【ネーミングライツスポンサー及び愛称】

正式名称	ネーミングライツスポンサー	愛 称	金 額
大ホール	株式会社神戸製鋼所	KOBELCO 大ホール	3,000 万円（税抜）
中ホール	阪急電鉄株式会社	阪急中ホール	1,500 万円（税抜）
小ホール	学校法人神戸女学院	神戸女学院小ホール	500 万円（税抜）

（主な表示物）看板、ポスター、チラシ、会報誌、情報誌、広告、ホームページ、チケット

（４） 賛助会員制度及び各種助成制度の活用等

① 賛助会員制度

芸文センター及び楽団活動を支援してもらうため、芸術文化に関心を寄せる地元企業を中心に賛助会員を募る（令和 7 年 1 月現在 16 社）。

【実績】賛助会員の種別

- ・特別賛助会員 ゴールド会員 年額 300 万円（1 社）
 シルバー会員 年額 100 万円（2 社）
- ・一般賛助会員（1 口） 年額 5 万円（13 社 26 口）

② 各種助成制度

県補助金をベースに経営効率を高めるとともに、ファンの期待に応えるメニュー充実、舞台グレードアップ、公演数拡大、広報強化等の資金として、文化庁や民間財団等の公的助成の積極的な獲得に努める。

＊（独法）日本芸術文化振興会 劇場・音楽堂等機能強化推進事業、舞台芸術等総合支援事業ほか

③ 民間支援の受入れ（主なもの）

- （ア） NPO法人イエロー・エンジェル（理事長：宗次徳二氏・名古屋市）によるコントラバスの無償貸与
コントラバス名：ヤナリス・ガリアーノ（1776年・イタリア製）ほか

④ 多額寄附金の活用

（ア） 三村正之氏からの寄附

兵庫県立芸術文化センター管弦楽団をはじめとした、新進音楽家の活動支援及び次世代を担う子どもたちの音楽体験活動を支援。

金額 50,000 千円「Aloha Mimura 基金（兵庫県立芸術文化センター音楽振興資産）」として管理・運営。H29 から5年を目途に音楽事業活動に充当。

（イ） スーパーキッズ・オーケストラ事業推進資産（再掲）

サントリーホールディングス（株）がスーパーキッズ・オーケストラの設立趣旨や東日本大震災復興祈念活動に賛同して寄附（平成26年度）いただいた150,000千円を原資に東北への訪問、合宿等の事業活動（平成27年度から10年間）を展開（サントリー「東北サンさんプロジェクト」）、令和7年度以降も同事業への支援を予定。

（ウ） ふるさとひょうご寄附金「県立芸術文化センター応援プロジェクト事業」

兵庫県の「ふるさとひょうご寄附金」に「県立芸術文化センター応援プロジェクト」のメニューを設けており、集まった寄附金を原資として、障がいのある方、高齢者、妊婦の方など誰もが快適に舞台芸術を楽しんでいただけるよう、手すりやベンチの設置などより利用しやすい施設づくりに活用。

（5） 中長期的取り組み

（ア） 芸術文化センター運営委員会

センターの運営について、運営委員会を開催し、事業の中長期的企画、事業展開、施設運営全般に関して経営面など幅広い観点から検討・意見交換を行う。

【時期】 年1回

【委員】 学識者、舞台芸術の専門家、マスコミ・経済界のリーダー、センター関係者等

（イ） 次年度以降の事業計画づくり

多彩な舞台芸術を創造・発信していく芸術文化センター及び同管弦楽団の次年度以降の事業展開に向けて、芸術監督とともに長期的な計画づくりを進め、企画検討、事前調査、出演者等の交渉・調整、プランの作成、舞台の制作準備など、事業準備を行う。

5 その他、施設利用者の利便向上への取り組み（収益事業）

- ・有料駐車場の運営（時間貸、収容台数 約100台）
- ・レストランスペースの貸出
- ・関連グッズのショップ設置・運営

〔尼崎青少年創造劇場の管理・運営（概要）〕

1 ピッコロシアター鑑賞劇場

県民文化の高揚と地域文化の振興を図るため、演劇、伝統芸能など優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場9事業を開催する。

- (1) 文学座公演「肝っ玉おっ母とその子供たち」(R7.5.24(土)・25(日))
(作:ベルトルト・ブレヒト 訳:岩淵達治 演出:西本由香)
- (2) ベイビー・プログラム(乳幼児と家族向け)
「ヒョーゲンアソビノバ」(R7.7.12(土))
「だがつきスイッチ もつきんコロコロ♪ たいこがポン♪」(R7.9.19(金))
- (3) こんにやく座公演オペラ「ルドルフとイッパイアッテナ」(R7.12.7(日))
(原作:斎藤洋(講談社刊「ルドルフとイッパイアッテナ」による)／台本:いずみ凜／作曲:信長貴富／演出:立山ひろみ)
- (4) 桂米朝一門による「ピッコロ寄席」(5席)

2 2025 ピッコロフェスティバル

開館記念日のある8月に演劇や音楽等の成果発表の場として施設を無償提供するとともに、舞台芸術に親しむことができるワークショップ等の企画を実施する。

3 ピッコロ劇団事業

令和7年度はピッコロ劇団員が作・演出を手掛ける作品や劇団創設初期に深く関わりのある清水邦夫の作品、さらにはシェイクスピアの古典名作にいたるまで幅広い分野における創造性豊かな演劇活動等に取り組む。

- (1) 第82回公演「新天地へ～ある移民の物語～」
R7.5.31(土)・6.1(日)、7(土)・8(日)
(作・演出:島守辰明)
- (2) ファミリー劇場「タラレバ幽霊とタカラの山」
R7.8.9(土)・10(日)(大ホール)／R7.12.20(土)・21(日)(県立芸術文化センター 阪急中ホール)
(台本:谷口雅美・原竹志／演出:原竹志)
- (3) 第83回公演「火のようにさみしい姉がいて」
R7.9.27(土)・28(日)、10.1(水)・10.2(木)
(作:清水邦夫／演出:眞山直則)
- (4) 第84回公演ピッコロシアタープロデュース「リア王」
R8.2.13(金)～15(日)(県立芸術文化センター 阪急中ホール)
(作:シェイクスピア／翻訳:河合祥一郎(角川文庫『新訳 リア王の悲劇』)／演出:松本祐子(文学座))
- (5) わくわくステージ(中学生のための演劇鑑賞体験事業)
春期「新天地へ～ある移民の物語～」(作・演出:島守辰明)
秋期「タラレバ幽霊とタカラの山」(作:谷口雅美・原竹志／演出:原竹志)
- (6) おでかけステージ(小学校公演)
R7.10～11「学校ウサギをつかまえろ」(原作:岡田淳(偕成社刊)／台本:眞山直則／演出:吉村祐樹)

4 人材育成・体験活動事業

- (1) ピッコロ演劇学校(本科(40名)、研究科(20名))、舞台技術学校(30名)の運営
- (2) ピッコロシアター文化セミナー&文化セミナーラボ
〔文化セミナー〕
〈104〉 R7.7.12(土) 出演=調整中
〈105〉 R7.9.27(土) 出演=いのうえひでのり(劇団☆新感線)、内藤裕敬(南河内万歳一座)
〔文化セミナーラボ〕小規模の実験的なセミナーを3回開催する。
- (3) ピッコロ実技教室
「ちゃっと!狂言～入門編～」や「40歳からのワンコイン演劇講座」、「ピッコロオペラ教室」など伝統芸能や演劇等の体験的学習、解説をまじえた実技教室を開催する。
- (4) ひょうごプレミアム芸術デー
文化セミナーやベイビー・プログラムを開催し芸術文化に親しむ機会を提供する。

5 施設の管理運営事業

利用者数はコロナ禍前まで回復した(R2年度29,120人→R7.1末94,677人)。

今後とも、貸館予約システムの円滑な運用など、安全・安心で快適に利用できる施設の管理運営に取り組む。

〔尼崎青少年創造劇場の管理・運営（詳細）〕

尼崎青少年創造劇場は、①地域における文化創造の芽を育む舞台芸術創造活動の場の提供、②「子どもと楽しむ落語会」等伝統芸術系の青少年・子ども向け事業の展開、③「県立ピッコロ劇団」による良質な演劇を通じた感動の提供、④ピッコロ劇団員による学校現場等における表現活動の普及、⑤「ピッコロ演劇学校・舞台技術学校」の運営による人材育成、⑥演劇等舞台芸術関係資料の閲覧・提供等を通じた県民の自主的な文化活動の促進に、重点的に取り組むとともに、県民にとって安全・安心、快適な施設を目指して親切かつ効率的な運営を心がける。

1 ピッコロシアター鑑賞劇場

県民文化の高揚と地域文化の振興を図るため、演劇、伝統芸能などの優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場を開催する。また、毎年恒例の子どもと大人が一緒に楽しめる落語会など、明日のひょうごを担う子どもたちに伝統ある舞台芸術にふれる機会を提供する。

令和7年4月～8年3月ラインナップ〔9事業（演劇4、落語5）〕

事業名	公演年月日	出演者等
ピッコロ寄席 「桂ざこば一周忌追善落語会」 (大ホール)	7. 5. 10(土)	出演＝桂米二、桂塩鯛ほか(調整中)
文学座公演 「肝っ玉おっ母とその子供たち」 (大ホール)	7. 5. 24(土) ～25(日)	作＝ベルトルト・ブレヒト 訳＝岩淵達治 演出＝西本由香 出演＝寺田路恵、小林勝也 ほか
ベイビー・プログラム 「ヒョーゲンアソビノバ」 (中ホール)	7. 7. 12(土)	出演＝調整中
ピッコロ寄席 桂枝雀一門会 (大ホール)	7. 8. 16(土)	出演＝桂南光、桂雀三郎、桂文之助 ほか
ベイビー・プログラム 「だがっきスイッチ もっきん コロコロ♪ たいこがポン♪」 (中ホール)	7. 9. 19(金)	出演＝打楽器デュオ 「だがっきスイッチ」
オペラシアターこんにゃく座 オペラ「ルドルフとイッパイアッテナ」 (大ホール)	7. 12. 7(日)	原作：斉藤洋（講談社刊「ルドルフと イッパイアッテナ」による） 台本：いずみ凜 作曲：信長貴富 演出：立山ひろみ
ピッコロ寄席 「桂吉朝一門会」 (大ホール)	7. 12. 14(日)	出演＝桂あさ吉、桂吉弥 ほか
ピッコロ寄席 「桂米團治独演会」 (大ホール)	8. 2. 8(日)	出演＝桂米團治 ほか
ピッコロ寄席 「子どもと楽しむ落語会」 (大ホール)	8. 3. 20(金・祝)	出演＝桂吉弥 ほか
合 計 9 事業		

2 2025 ピッコロフェスティバル

開館記念日（8月19日）を含む8月の1か月間、地域で創造活動に取り組む若者たちの演劇、音楽などの成果発表と交流の場として、施設を無償提供するとともに、鑑賞や体験等を通じた舞台芸術に親しむ機会とするため、県民の参加と協働による「ピッコロフェスティバル」を開催する。

【時 期】 令和7年8月1日（金）～8月31日（日）

【場 所】 ピッコロシアター各ホール、閲覧室など

【事業内容（予定）】

区 分	内 容
県民参加企画	参加団体を公募して開催 ＊演劇：小・中・高校の部、大学・一般の部 (舞台施設・設備を無償提供)
地域団体連携企画	〈阪神間など地域の文化団体組織と連携〉 「人形劇フェスタ阪神」「バリアフリーコンサート」 〈高校演劇研究会阪神支部と連携〉 高校生向け演劇ワークショップを開催 (企画運営は団体、舞台施設・設備を無償提供)
体験企画	〈伝統芸能〉 大蔵流狂言方を講師に招いての「ちゃっと！狂言～入門編～」を開催 〈コミュニケーション力・表現力〉 新聞記事を題材にした「まわしよみ新聞&演劇ワークショップ」 〈演劇〉 中高年を対象にした「40歳からのワンコイン演劇講座」 〈音楽〉 オペラの解説・リハーサル見学等の体験機会を提供する「オペラの楽しみ方」を開催（関西二期会オペラ研修所研修生によるオペラ公演を同時開催）
特別企画	〈ピッコロフェスティバルの期間中の開催〉 ピッコロ劇団ファミリー劇場公演「タラレバ幽霊とタカラの山」 ピッコロ寄席など
協賛企画	関係団体による演劇・ワークショップの開催

3 県立ピッコロ劇団事業

(1) ピッコロ劇団公演

優れた舞台芸術の創造と地域文化の振興を図るため、令和6年度に設立30周年を迎えた県立ピッコロ劇団を運営し、ピッコロシアターでの多彩な舞台公演（本公演、ファミリー劇場など劇場へのアクセシビリティを高める鑑賞サポートを継続）や演劇学校のほか高等学校等の教育機関において演劇指導等人材育成事業を展開する。

また、第2の活動拠点である県立芸術文化センター（西宮市）では12月にファミリー劇場公演を、2月には関西の演劇人との共同製作によるプロデュース公演を上演する。

劇団代表： 岩松 了 劇作家・演出家・俳優

第33回岸田國土戯曲賞、第28回紀伊國屋演劇賞個人賞、
第49回読売文学賞、第21回鶴屋南北戯曲賞、平成30年度兵庫県
文化賞を受賞

客 員： 鶴山 仁（演出家＝前新国立劇場演劇芸術監督・文学座）

喜志 哲雄（演劇評論家・京都大学名誉教授）

杉本 了三（演劇プロデューサー）

内藤 裕敬（劇作家・演出家・俳優＝南河内万歳一座）

劇 団 員： 32名（男18名 女14名）（令和7年2月末現在）

ピッコロ劇団公演ラインナップ

※はピッコロ劇団員

事業名	公演年月日	出演者等
オフシアターVol. 41 「ダウトー疑いをめぐる寓話」 (中ホール)	7. 4. 11(金) ～13(日) (5公演)	作＝ジョン・パトリック・シャンリイ 訳＝鈴木小百合 演出＝中島深志 (※) 出演＝ピッコロ劇団員
第82回公演 「新天地へ～ある移民の物語～」 (大ホール)	7. 5. 31(土) ～6. 1(日) 7. 6. 7(土) ～8(日) (5公演)	作・演出＝島守辰明 (※) 出演＝ピッコロ劇団員
わくわくステージ (5～6月期) 「新天地へ～ある移民の物語～」 (第82回公演と同演目) (大ホール)	7. 5. 30(金) ～6. 11(火) (9公演)	
わくわくステージ 市町ホール公演 「新天地へ～ある移民の物語～」 (第82回公演と同演目) (赤穂市文化会館赤穂化成ハーモニーホール大ホール)	7. 6. 23(月) (1公演)	
ファミリー劇場 「タラレバ幽霊とタカラの山」 (大ホール)	7. 8. 9(土) ～10(日) (4公演)	台本＝谷口雅美、原竹志 (※) 演出＝原竹志 (※) 出演＝ピッコロ劇団員 12月公演 オーディションによる子ども達 が出演予定
わくわくステージ (11～12月期) 「タラレバ幽霊とタカラの山」 (ファミリー劇場と同演目) (大ホール)	7. 11. 27(木) ～12. 4(木)	
ファミリー劇場 「タラレバ幽霊とタカラの山」 (県立芸術文化センター阪急中ホール)	7. 12. 20(土) ～21(日) (3公演)	
第83回公演 「火のようにさみしい姉がいて」 (中ホール)	7. 9. 27(土) ～28(日) 10. 1(水) ～2(木) (9公演)	作＝清水邦夫 演出＝眞山直則 (※) 出演＝ピッコロ劇団員
おでかけステージ (小学校公演) 「学校ウサギをつかまえろ」 (小学校体育館等)	7. 10～11 県内の小学校等での 上演	原作＝岡田淳 (偕成社 刊) 台本＝眞山直則 (※) 演出＝吉村祐樹 (※) 出演＝ピッコロ劇団員
第84回公演 ピッコロシアタープロデュース 「リア王」 (県立芸術文化センター阪急中ホール)	8. 2. 13(金) ～15(日) (5公演)	作＝シェイクスピア 翻訳＝河合祥一郎 (角川文庫 『新訳 リア王の悲劇』) 演出＝松本祐子 (文学座) 出演＝ピッコロ劇団員ほか 劇団員のほか、関西俳優陣が 出演予定
合 計 10 事業 【本公演3本、ファミリー劇場2本、オフシアター、わくわくステージ2本、同市町公演、おでかけステージ】		

(注)「わくわくステージ」：ピッコロ劇団による中学生向け演劇鑑賞体験事業

(参考)鑑賞サポートの取組

ファミリー劇場・わくわくステージなどにおいて、ピッコロ劇団員の参画のもとに、多様なアクセシビリティに配慮した鑑賞サポートの取組を継続して進めていく。

《取組例》

- ・視覚障害者向けに音声ガイド付き公演
(R7：わくわくステージ(11～12月期)、ファミリー劇場(12月)で実施予定)
- ・聴覚障害者向けに公演の音声情報をバリアフリー字幕表示(タブレット配布又は舞台上で表示)
(R7：わくわくステージ(5～6月期)、第82回公演で実施予定)
- ・バックステージ解説での手話通訳
- ・視覚障害者に事前に舞台の立体図(触図)に触れてもらう
- ・公演台本・ヒアリングループ・骨伝導補聴器の貸出
- ・受付での手話通訳、筆談対応等

(2) 演劇指導(演劇ワークショップ)など

ピッコロ演劇学校(本科・研究科)、県立宝塚北高校(演劇科)をはじめとした大学、高校等、県立総合教育センター、兵庫県自治研修所等へ劇団員を指導者として派遣するとともに、演劇の裾野の拡大をめざし、演劇・創作活動を身近に感じてもらうため、県内各地でワークショップ等を開催する。小学校などでは演劇ワークショップ「あつまれ!ピッコロひろば」を実施する。併せて、特別支援学校生徒や日本語に不慣れな外国人などへの社会包摂活動につながる演劇ワークショップなどの取組も継続して進めていく。

(3) 外部出演

他劇団、放送局等の依頼を受けて、演劇公演、映画、放送等に出演。

(4) ピッコロサポートクラブへの支援

ピッコロ劇団の活動を地域全体で支援するため、平成8年に尼崎商工会議所等が中心となって設立された後援会組織である「ピッコロサポートクラブ」の活動を支援するとともに、情報誌「i n t o」を共同発行する。

(参考1)ピッコロサポートクラブ会員 340 口(令和7年2月末現在)

種 類	年会費
法人会員(企業・団体向)	20,000 円
個人会員(特別会員)	10,000 円
個人会員(A会員)	6,000 円
個人会員(B会員)	2,000 円
個人会員(J会員高校生以下)	4,000 円

[特 典]

- ・ピッコロ劇団公演への招待または入場料割引、先行予約
- ・情報誌「i n t o」、稽古場見学会や劇団員との茶話会等の催し物案内の送付
- ・演劇、落語会等ピッコロシアター自主事業の入場料割引、先行予約等

(参考2)情報誌「i n t o」の発行

ピッコロ劇団公演の紹介をはじめ、劇団員の活動、ピッコロシアターでの催し物等の情報を提供する。

* A 5 版/20 ページ(カラー印刷)/年 4 回/各 3,000～4,000 部

4 人材育成・体験活動事業

(1) ピッコロ演劇学校の運営

地域文化を高める演劇創造に参加しようとする若者たちに、夢を与え、表現力や創造力、コミュニケーション力を身につけさせることで、人間性豊かな人材を育成する。

- 【期 間】 令和7年4月～8年3月
【場 所】 ピッコロシアター
【授 業】 原則として毎週2回(火・木の夜間)と年数回の特別講義
特別講師：岩松了、平田オリザ、鐘下辰男
【募集人数】 本科40名、研究科20名
【上演実習】 (本科) 前期発表会、卒業公演[舞台技術学校と合同製作]
(研究科) 前期発表会、卒業公演

(2) ピッコロ舞台技術学校の運営

クリエイティブな地域文化のステージづくりと文化施設の活性化のため、舞台芸術を支える美術、照明、音響の舞台技術人材を育成する。

- 【期 間】 令和7年4月～8年3月
【場 所】 ピッコロシアター、芸術文化センター(学外授業)
【授 業】 原則として毎週2回(水・金の夜間)と年数回の特別講義
特別講師：服部基、山北史郎、堀尾幸男
【募集人数】 美術、照明、音響 計30名
【上演実習】 クラシックコンサート実習、軽音楽ライブ実習、
卒業公演[演劇学校本科と合同製作]

(3) ピッコロ・山根演劇賞の贈呈

ピッコロ演劇学校生及びピッコロ舞台技術学校生のうち成績優秀で他の模範となった者や、ピッコロ劇団員のうち優れた演劇活動を行った者など、優れた演劇活動を行った者に「ピッコロ・山根演劇賞」を贈呈する。(時期：令和8年3月)

(4) ピッコロシアター文化セミナー&文化セミナーラボ

〔文化セミナー〕

著名な舞台人による講演、専門家による伝統芸術の紹介・解説などの教養講座を開催し、舞台芸術への関心を高め、地域文化の振興を図る。(ピッコロシアター大ホール)

事 業 名	期 日	出演者等
<104> 調整中	7.7.12(土)	出演＝調整中
<105> 調整中	7.9.27(土)	出演＝いのうえひでのり(劇団☆新感線)、内藤裕敬(南河内万座一座)

〔文化セミナーラボ〕

従来の文化セミナーに加え、これまでピッコロシアターに馴染みのなかった層にも理解者・ファンを広げるため、舞台芸術の周辺での興味深いテーマを扱う、小規模の実験的なセミナーを開催する。

【実施回数等】 年3回(小ホール・閲覧スペースほかで実施)

【講師】 研究者、まちづくりプロデューサー、新聞記者等

(5) ピッコロ実技教室

伝統芸能や演劇等の体験的学習、解説をまじえた実技教室を開催し、舞台芸術への関心を高め将来の鑑賞者の育成を図る。

いずれも、2025 ピッコロフェスティバルの期間中に「体験企画」として実施。

事業名	期 日	出演者（指導者）等
40 歳からのワンコイン演劇講座	7. 8. 13(水)	講師：瀬口昌生(大手前大准教授)
ちやっと！狂言～入門編～	7. 8. 23(土) 24(日)	講師：大蔵流狂言方 善竹隆司 ほか
令和の演劇向上委員会	7. 8. 26(火)	講師：兵庫県高等学校演劇研究会 阪神支部加盟の教諭(演劇 部顧問)ほか
まわしよみ新聞&演劇ワーク ショップ〈壁新聞を演じてみよう〉	7. 8. 28(木)	講師：三好正文(神戸新聞社)、ピ ッコロ劇団員
オペラの普及をめざして 関西二期会オペラ研修所と連携 「ピッコロオペラ教室」 「第 61 期生による修了オペラ」 「作品未定」	オペラの楽しみ方 7. 8. 29(金)	講師：関西二期会理事
	オペラ公演 7. 8. 30(土)	関西二期会オペラ研修所 第 6 1 期生 ほか

(6) 研修生等の受け入れ

開かれた劇場として、トライやる・ウィーク、インターンシップをはじめとした研修生（中・高・大学生等）を年間通して内外から受け入れる。

また、県立芸術文化観光専門職大学（豊岡）から大学生を実習先として受け入れる。

(7) ピッコロ動画配信～コロナ禍から始まった取組～

ピッコロシアターとピッコロ劇団の事業・公演について、より幅広い客層に関心を持ってもらい、実際に足を運んでもらえるよう、SNS やホームページ等を通じて、劇団員によるPR動画などのコンテンツ配信などに取り組む。

(8) ひょうごプレミアム芸術デーにおける交流イベントの開催

7 月 9 日～15 日の間、県立芸術文化施設において芸術関連のイベントが開催されることに合わせて、ピッコロシアターでは、7 月 12 日（土）に著名人を招き、ピッコロシアター文化セミナーを開催する。聴覚障害者の鑑賞サポートとして、手話通訳と要約筆記を実施する。併せて、大人も子どもも楽しめる「ヒョーゲンアソビノバ」を実施し、子育てファミリー層の参加を支援する。

5 施設の管理運営事業

(1) 兵庫県立尼崎青少年創造劇場の施設管理

青少年の演劇、音楽、舞踊等の創造活動を促進するとともに、広く県民文化の高揚を図るため設置された「県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター）」の指定管理者として、演劇、音楽、舞踊等の舞台芸術の練習・発表の場である劇場内諸施設を提供するほか、鑑賞劇場、文化セミナー等自主事業を適切に実施する。

【所在地】 尼崎市南塚口町 3 丁目 17 番 8 号

【施設】 ・大ホール(客席数 396 席) ・中ホール(収容 200 人)
・小ホール(収容 100 人) ・楽屋 (6 室) ・練習室 (3 室)
・資料室 (閲覧スペース・書庫) ・舞台美術工房 等

(参考) 近年実施した主な施設改修

《R6 年度》

- ・火災受信機更新
- ・時計設備更新
- ・情報館機器更新
- ・事務所ネットワークサーバー更新
- ・正面玄関電子錠導入

《H29～R5 年度》

- ・旧喫茶室改修(R5)
- ・防犯カメラ及び AP 追加(R5)
- ・事務室 LED 化(R5)
- ・敷地内高木剪定(R5)
- ・中ホールロビー空調修理(R5)
- ・大ホール音響室空調修理(R5)
- ・大ホール客席誘導灯修繕工事(R4)
- ・大ホールワイヤレスマイク設備更新 (R4)
- ・中ホールスピーカー更新工事 (R4)
- ・中小ホール搬入口重量シャッターの修理 (R4)
- ・外部 2 階エントランス等防水工事 (R4)
- ・ホール天井照明の LED 化 (R4)
- ・動画配信のための Wi-Fi 整備 (各ホール・楽屋・練習室・閲覧室及び別館稽古場) (R3)
- ・ホールのロスナイ (換気システム) の改修(R3)
- ・別館稽古場への換気設備改修(R2)
- ・大ホールホワイエに障害者等対応エレベーターを設置(R2)
- ・展示室を劇場利用者同士の交流が図れる閲覧スペース等に改装、書庫を整備(R1-2)
- ・ホール天井照明の LED 化、練習室の防音換気機能向上(R1-2)
- ・小道具等が製作できる舞台美術工房を大ホール B 1 階に整備(R1)
- ・トイレの完全洋式化、おむつ交換台、授乳室の設置(H29-R1)

(2) 情報の提供

① 演劇等舞台芸術関係資料の提供 (蔵書数約 32,000 冊※)

青少年などの幅広い創造活動を支援するため、資料室において、演劇・音楽・舞踊などの舞台芸術専門書等の閲覧・貸出を行い、照会にも迅速に対応する。

※令和 2 年度にピッコロ劇団初代代表の故・秋浜悟史氏のご遺族からの寄贈蔵書約 5,500 冊を「秋浜文庫」として受け入れ、書籍の充実を図った。

② ホームページの運営

より見やすく分かりやすいレイアウトとなるよう工夫するとともに、スマートフォンからのアクセスの改良などを継続し、今後とも情報発信力の充実を図る。

※貸館システム導入により、利用者に対して施設の空き情報をリアルタイムで提供 (令和 5 年 12 月より)

※URL <https://piccolo-theater.jp>

③ 芸術文化情報コーナーの運営

劇場内 2 カ所に県内外の芸術文化公演や劇場・劇団の等のチラシ、パンフレットを見やすく配置し、来場者へ多くの芸術文化情報を提供する。

6 その他、施設利用者の利便向上への取り組み (収益事業)

- ・飲料自動販売機の設置

〔本部の事業（概要）〕

芸術文化の普及・啓発

昭和 43 年以来、協会が管理運営を担い、本部が事業展開の拠点としてきた兵庫県民会館が、令和 7 年 3 月末で閉館となることから、事務所を神戸情報文化ビル（神戸市中央区東川崎町）に移転する。

事業の計画・実施に当たっては、利用者の利便性を考慮しつつ、より効果的・効率的な展開が図れるよう、時期、場所、内容等を調整する。また、引き続き「ひょうごアーティストサロン」を併設し、新進・若手はじめ県内アーティストへの支援等を継続する。

1 主催事業

（１）芸術文化活動の表彰事業

将来の活躍が期待される優れた音楽家を対象とする「坂井時忠音楽賞」、功績のあった女性洋画家を対象とする「亀高文子記念一赤艸社賞」、地域の伝統文化の継承等に貢献した者・団体を対象とする「ふるさと文化賞」などの表彰事業を実施し、県の芸術文化の高揚を図る。

（２）コンクール、展示事業

美術展等を開催し、県民の創作活動を後押しするとともに、作品の展示を通じて世代や分野を超えた人々の交流の場づくりを進める。また、新進美術家による作品展を開催し、発表の機会と県民が気軽に美術鑑賞できる場を提供する。

（３）公演事業

小学校・高校や公立文化施設において「県民芸術劇場」を実施し、優れた舞台芸術を身近で鑑賞する機会と県内芸術団体等が地域で活動する機会を提供する。また、新進・若手芸術家の発表の機会と誰もが気軽に鑑賞できる場として、ロビーコンサート、リサイタルを開催する。

（４）講座・体験等事業

県民の高い学習意欲に応えるため、県立美術館、博物館等と連携して「兵庫県生活文化大学」を開催し、年間を通じて歴史、美術、音楽等の多彩な分野の講座を実施するほか、気軽に参加できる短期講座を実施する。子どもから大人まで幅広い層の県民が伝統文化を体験できる「伝統文化体験教室」を実施する。

2 芸術文化団体等との連携事業

様々なジャンルの県域芸術文化団体や市町等と連携・協力し、「ふれあい文化の祭典－県民文化普及事業」を展開し、芸術文化のすそ野を拡げていく。7 地域の地域文化団体で構成される兵庫県地域文化団体協議会と連携し、地域文化の向上・振興を図る。

3 ひょうごアーティストサロンによる県内アーティストへの支援事業

「ひょうごアーティストサロン」では、県内芸術家を支援するため、芸術文化関係者の交流・連携・相談への対応や芸術家の活動に関する情報の発信を行う。また、新進・若手の芸術家に対しては、作品展、ロビーコンサート、リサイタルの開催のほか、アーティストサロン賞の顕彰等を行う。

4 情報の提供

協会の各施設や関係文化施設、芸術文化団体等の情報を掲載した情報紙「すずかけ」を毎月発行する。ホームページや各種 SNS による発信、YouTube チャンネルでの県内芸術家・団体の活動等の動画配信などを行うとともに、アーティストサロン内にコンサートや展覧会などの情報コーナーを新設するなど、県民の芸術文化への関心を高め、本部事業や各施設等の芸術文化事業への参加を促す。

〔本部の事業（詳細）〕

芸術文化協会本部では、協会事業全体の総合調整を行うとともに、芸術文化の普及啓発を推進し、県民文化・地域文化の向上を図るため、①主催事業（表彰、コンクール・展示、コンサート・リサイタル、講座・体験等）、②芸術文化団体等との連携（ふれあい文化の祭典、地域文化団体との協力等）、③ひょうごアーティストサロンの運営、④情報提供の分野において各種事業を展開する。

事業の実施にあたっては、ニーズ等を踏まえたより魅力ある内容となるよう充実に努めるとともに、厳しい財政環境にあることから、事務の改善、寄附金等の活用を引き続き図っていく。

1 主催事業

（１） 芸術文化活動の表彰事業

① 第４４回ふるさと文化賞の贈呈

地域において永年にわたり、伝統文化の継承、ふるさと文化の高揚に多大な貢献をされた個人、団体を顕彰するため、「ふるさと文化賞」を贈る。

【件 数】 ３件以内

② 亀高文子記念－赤艸社賞^{せきそうしゃ}の贈呈

絵画の創作を通じて、県民文化の高揚に功績のあった女性洋画家を顕彰する「亀高文子記念－赤艸社賞」を贈る。

【件 数】 ２件以内

【副 賞】 ２０万円

③ 坂井時忠音楽賞の贈呈

県内における音楽活動に優れた業績をあげ、かつ、将来の活躍が期待される音楽家を顕彰する「坂井時忠音楽賞」を贈る。

【件 数】 ２件以内

【副 賞】 ３０万円

④ ひょうごアーティストサロン賞の贈呈

ひょうごアーティストサロンの事業に積極的に参加し、将来一層の活躍が期待される新進・若手芸術家等を顕彰するため「ひょうごアーティストサロン賞」を贈る。

【件 数】 ３件以内

（２） コンクール、展示事業

① 第３１回兵庫ふれあい美術展

日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真作品による美術展を開催する。

【会 期】 令和７年１２月１８日(木)～２１日(日)

【会 場】 原田の森ギャラリー

② 新進美術家作品展（アーティストサロン事業）

県内各美術団体の協力を得て、新進作家を中心とした作品展を開催する。

・ひょうごアーティストサロン内ギャラリー

作 品 展	開催時期（２ヶ月程度）
兵庫二紀会選抜展	４月～５月
兵庫県写真作家協会新進作家選抜展	６月～７月
兵庫県美術家同盟新進作家選抜展	８月～９月
兵庫の工芸 壁面を飾る	１０月～１１月
兵庫県書作家協会選抜展	１２月～１月
兵庫県日本画家連盟選抜展	２月～３月

・原田の森ギャラリー東館 2 階展示室

作 品 展	開催回数等
兵庫県彫刻家連盟特別展（彫刻）	7～8月（5日間）
兵庫県書作家協会特別展（書道）	11 月（5日間）

・原田の森ギャラリー本館 2 階大展示室

作 品 展	開催時期
兵庫県美術作家交流展	12 月（4日間）

（３） 公演事業

① 県民芸術劇場

小学生・高校生、一般県民が優れた舞台芸術を身近に鑑賞し、県内芸術団体等が活動する機会として県民芸術劇場を開催する。

【時 期】 通年

種別	開催場所	公演数(前年度)	公演内容
一般公演	市町文化会館等	13(11)	オーケストラ、室内楽、声楽、 打楽器、演劇、ミュージカル、 人形浄瑠璃、狂言、落語等
学校公演	小学校 高等学校等	55(74)	
合計		68(85)	

② ひょうごアーティストサロン ミュージアムコンサート（アーティストサロン事業）

県民会館ロビーコンサートを承継し、新進・若手アーティストに活動発表の場を提供するとともに、誰もが気軽に鑑賞できるようコンサートを開催する。

【回 数】 年 8 回（開催月の第 2 土曜日）

【会 場】 横尾忠則現代美術館オープンスタジオ

③ 県内芸術家ロビーコンサート（アーティストサロン事業）

県・市町の文化施設等における新進芸術家等によるロビーコンサートを実施し、発表と鑑賞の機会を創出する。

【回 数】 20 公演程度

【会 場】 県市町文化施設

④ ひょうごの新進芸術家リサイタルシリーズ（アーティストサロン事業）

兵庫県出身、在住、在勤、在学で芸術文化活動をする概ね 45 歳未満の個人及び団体で、今後の活躍が期待される新進芸術家に発表の場を提供する。

【回 数】 年 5 回

【会 場】 芸術文化センター 神戸女学院小ホール

（４） 講座・体験等事業

① 兵庫県生活文化大学

日々の暮らしに喜び、感動を求め、歴史や文化に深い関心を寄せる県民の学習意欲に応えるため、多彩な講座で構成する兵庫県生活文化大学を開催する。

講 座 名			開催地・会場	期間・回数
通 年	神 戸 校	文化財 (県立美術館「芸術の館友の会」)	神戸市 神戸市立中央区文 化センター	4～2月 10 回
		考古学 (県立考古博物館)		4～2月 10 回
		日本美術 (県立美術館「芸術の館友の会」)		4～2月 10 回
		西洋美術 (県立美術館「芸術の館友の会」)		4～2月 10 回
		ふるさとの歴史 (県立歴史博物館)		5～2月 10 回
		音楽鑑賞 (兵庫県音楽活動推進会議)		5～3月 10 回
通 年	明 石 校	ふるさとの歴史 (明石市) (県立歴史博物館)	明石市 明石市生涯学習セ ンター	4～2月 10 回
	姫 路 校	ふるさとの歴史 (県立歴史博物館)	姫路市 県立歴史博物館	4～2月 10 回
短期		展覧会特別鑑賞講座 伝統芸能講座 ふるさとウォーク	神戸市・西宮市 県立美術館 芸術文化センター ほか	4～3月 4回程度
合 計 11 講座				84回程度

② 風土と文化の歴史学講座

田辺真人園田学園女子大学名誉教授を講師に迎え、様々な風土から育まれた多様な文化を歴史的に考察する。

【時 期】 9月～11月頃（全3回）

【会 場】 神戸市立長田区文化センター 別館ピフレホール

③ 伝統文化体験教室

子どもから大人まで幅広い層を対象に伝統文化を学べる機会を提供し、その魅力を感じてもらうため体験教室を開催する。

【時 期】 令和7年7月～令和8年2月

【会 場】 神戸市立長田区文化センター、兵庫県公館等

【内 容】 日本舞踊、須磨琴、箏 各1日

④ 友の会事業の推進

芸術文化を愛し、こころ豊かな生活文化を育む人々が、芸術文化に関する学習や交流事業を通じて、生きがいくりと会員相互の交流を図るため、友の会事業を推進する。また、会員数の拡大や会員特典施設の増加・充実等に取り組む。

【名 称】 兵庫県芸術文化協会友の会

【種 類】 個人会員 (会費： 3,000 円)

ファミリー会員（同一世帯・2人まで） (会費： 5,000 円)

団体会員 (会費： 10,000 円)

【特 典】 ・文化情報紙「すずかけ」の送付（毎月）

・兵庫県生活文化大学の受講料等割引

・美術館・博物館等の入館料割引

・提携劇場指定公演チケットの割引など

2 芸術文化団体等との連携事業

(1) 兵庫県地域文化団体協議会への支援

県内7地域の文化団体協議会等と協会で組織する兵庫県地域文化団体協議会の事務局を運営し、情報や課題の共有、共同事業の実施など地域文化の活性化を図る。

① 地域文化団体との共同事業

県内7地域の文化団体協議会等と協力し、地域伝統文化事業をはじめ、各地の自主的な芸術文化事業を開催する。

【対 象】 地域文化団体7団体

No.	構成団体	事業名
1	阪神南文化振興団体連絡協議会	第46回尼崎薪能
2	阪神北文化振興団体連絡協議会	地域活動団体出演・出展支援事業
3	東播磨文化団体連合会	東播磨文芸誌「東はりま文化子午線」第49号の発行
4	西播磨文化協会連絡協議会	「西播磨地域ふれあい文化交流会」の開催
5	但馬文化協会	但馬文学のつどい「たじま作品集～短詩型文学～第50集の発行
6	丹波文化団体協議会	「日本の文化体験フェスティバル」の開催
7	淡路文化団体連絡協議会	「淡路文化の祭り」の開催

② 地域文化を考えるシンポジウム

県内市・町文化協会長等が一堂に会し、シンポジウムを通じて地域の文化活動を語りあい、芸術文化情報の交換と連携の輪を広げ、地域文化の活性化と県民文化の向上を図る。

【時 期】 令和7年9月30日（火）

【会 場】 西宮神社会館

【テーマ】 芸術・文化の魅力が地域をつなぐ（仮）

(2) 県民文化普及事業 ふれあい文化の祭典

芸術文化団体が、市町及び兵庫県の協力を得て「令和7年度県民文化普及事業—ふれあい文化の祭典」（23事業）として実施するイベント等について、事務調整、広報、観客誘致等を担当し、協力・支援する。

No.	事業名	関係文化団体	会場（市町）
1	兵庫県交響楽祭	兵庫県オーケストラ協議会	西宮市
2	ひょうごブラスフェスティバル	兵庫県吹奏楽連盟	加古川市
3	ひょうご吟剣詩舞道祭	兵庫県吟詠連盟、 兵庫県吟剣詩舞道総連盟	三田市
4	ひょうご日本民謡フェスティバル	日本民謡民舞兵庫県連合会	神戸市
5	音楽とダンスの祭典 in Hyogo	兵庫県ダンススポーツ連盟	神戸市
6	ひょうご演劇祭	兵庫県劇団協議会	調整中
7	ひょうご名流舞踊の会	兵庫県舞踊文化協会	神戸市
8	ひょうご洋舞フェスティバル	兵庫県洋舞家協会	西宮市
9	兵庫短歌祭	兵庫県歌人クラブ	調整中
10	兵庫県川柳祭	兵庫県川柳協会	調整中
11	詩のフェスタ ひょうご	兵庫県現代詩協会	神戸市

No.	事業名	関係文化団体	会場（市町）
12	全国手工芸美展 in ひょうご	兵庫県婦人手工芸協会	神戸市
13	兵庫県いけばな展（神戸展）	兵庫県いけばな協会、 兵庫県いけばな芸術文化振興会議	神戸市
14	兵庫県いけばな展（地域展）	兵庫県いけばな協会、 兵庫県いけばな芸術文化振興会議	洲本市
15	ひょうご大茶会	兵庫県茶道協会	神戸市
16	ひょうご邦楽の祭典	兵庫県箏絃連盟	西宮市
17	ひょうご民俗芸能祭	兵庫県伝承民俗芸能文化協会	福崎町
18	アンサンブル・フェスティバル兵庫	兵庫県音楽活動推進会議	西宮市
19	和太鼓フェスティバル in 兵庫	兵庫県太鼓連盟	三木市
20	兵庫ふれあい美術展	（公財）兵庫県芸術文化協会	神戸市
21	東播磨文化フェスティバル	東播磨文化団体連合会	加東市
22	西播磨文化フェスティバル	西播磨文化協会連絡協議会	調整中
23	丹波文化フェスティバル	丹波文化団体協議会	丹波市

（注）当初収支予算書内訳表上は、収益事業等会計の「その他の事業（芸術文化団体との連携事業）」に区分

（３） 地域で親しむ舞台芸術応援事業

県内各地域で舞台芸術を鑑賞できる機会をつくとともに、県内芸術家の公演活動を支援することで優れた芸術家の育成につなげる。（令和６年度までの舞台芸術鑑賞機会創出事業に代わる県補助事業）

【採択件数】 ４０公演程度

【対象経費】 公演料

【助成額】 １公演あたり 250～1,000 千円上限（公演開催地域によって異なる）

（４） 芸術文化団体等の事業への支援

県内で開催される文化振興に寄与する事業を支援するとともに、優秀作品に兵庫県芸術文化協会賞を贈る。

【後援名義】 年間約 250 団体

（５） 兵庫県文化賞受賞者懇話会への支援

兵庫県文化賞受賞者で構成される、兵庫県文化賞受賞者懇話会の事務局運営等の支援を通じて、芸術文化の振興を図る。

３ ひょうごアーティストサロンによる県内アーティストへの支援事業

ひょうごアーティストサロンに芸術文化コーディネーターを置いて、新進・若手アーティスト等に対する相談・助言や、発表の機会と場の提供などをより積極的に行うことにより、新進・若手アーティストの育成支援と地域における芸術文化活動のさらなる活性化を図る。また、新進・若手アーティストの育成支援等に役立てる募金の呼びかけにも取り組む。

（１） 芸術文化関係者の交流・連携の促進

様々な分野の芸術文化関係者がアーティストサロンに集い、出会い、語らいの場として利用されることにより、交流拠点としてのサロン機能を発揮する。

（２） 相談・助言・斡旋事業の実施

芸術文化情報の収集・発信を通して蓄積した人材情報等に基づき、初心者から若手、中堅を問わず芸術文化活動に関する様々な相談に応じる。

また、県・市町や関係団体が主催するシンポジウム・セミナー・各種大会において、これらの事業に花を添えるような形で、県内のアーティストが参画する「ひょうごさわ

やかステージ」と冠したミニコンサートやミニ展覧会を斡旋することで、県民により多くの芸術文化に触れる機会を提供する。

(3) 新進・若手アーティストの育成・支援

- ① 新進美術家作品展（再掲）
- ② ひょうごアーティストサロン ミュージアムコンサート（再掲）
- ③ 県内芸術家ロビーコンサート（再掲）
- ④ ひょうごの新進芸術家 リサイタルシリーズ（再掲）

4 情報の提供

(1) 文化情報紙「すずかけ」の発行

協会の文化情報紙「すずかけ」を発行し、芸術文化への関心を高め、参加を促す。

【内 容】芸術文化協会の事業紹介、文化関係者の活動紹介、県内のイベント情報等

【発 行】毎月1回／5，000部

【配布先】友の会会員、文化会館、美術館、博物館等の文化施設、市町文化担当課ほか

(2) 文化情報の提供

ひょうごアーティストサロンに文化情報紙、県内施設等の催物案内チラシなどを配架し、多彩な文化情報を提供する。

(3) ホームページの運営

協会概要や本部事業の情報提供のみならず、芸術文化センター、ピッコロシアター、芸術文化協会本部、ひょうごアーティストサロン、原田の森ギャラリー、横尾忠則現代美術館の各ホームページにリンクし、各施設の公演、展覧会事業等を幅広く紹介する。また、ホームページの多言語化対応により、海外や在留外国人への情報提供にも取り組む。

(公財) 兵庫県芸術文化協会 (<https://hyogo-arts.or.jp>)

【内 容】・協会の概要

- ・協会主催事業等の案内
- ・管理施設の案内

(4) その他多面的な広報活動

① SNSの運営

YouTube チャンネルで動画配信をするほか、X (旧 Twitter)、Facebook、Instagram を活用して、情報発信を強化する。

② マスメディアによる情報提供の強化

テレビ、ラジオ、新聞等への記者発表、資料配布等。

③ 県広報媒体の活用

兵庫県広報紙「県民だよりひょうご」、サンテレビ県民情報番組「ひょうご発信！」兵庫県広報公聴課 Facebook「はばタンなび」等。

④ 県内文化施設等多様なチャンネルを活用した情報提供

兵庫県生活文化大学を共催している県立美術館、県立歴史博物館、県立考古博物館等の施設と連携してPRを行うほか、県内の文化施設や図書館、各教育機関を通じて情報発信を行う。

〔県立美術館王子分館の管理・運営（概要）〕

1 原田の森ギャラリーの運営

（１）貸しギャラリーの適正な運営

プロ・アマチュア芸術家、芸術文化団体の作品発表の場として、また、県民がさまざまな芸術文化に触れ交流する場となるよう、ギャラリー運営会議の助言を得ながら、適正で効率的なギャラリー運営を図る。

（２）施設・設備の適切な管理

年間 10 万人以上の来場者が安全安心に利用できるよう、日常的な点検の実施、不良箇所への速やかな対処に努める。施設・設備の修繕についても県と協議のうえ、計画的に対応する。

2 横尾忠則現代美術館の管理・運営

（１）横尾作品を中心とした展覧会運営

横尾忠則の作品をさまざまな切り口・角度から紹介する 3 つの展覧会を開催する。

- ① 横尾忠則の肉体派宣言展 / 令和 7 年 5 月 24 日～8 月 24 日（80 日間）
- ② 復活！横尾忠則の髑髏まつり / 令和 7 年 9 月 13 日～12 月 28 日（92 日間）
- ③ 大横尾辞苑～これであなたもヨコオ博士!?! / 令和 8 年 1 月 31 日～5 月 6 日（83 日間）

また、展覧会をより楽しめるよう、期間中に実施するギャラリートーク動画の YouTube 発信や 1 F オープンスタジオでの放映などを行う。

（２）アーカイブ資料の整理・公開

横尾氏が所蔵し、当館に受け入れているイラスト、デザイン原稿、書籍等を整理し、展覧会に活用するとともに、順次「アーカイブ資料リスト」として公開し、横尾芸術の研究等に活用する（令和 7 年 1 月末現在 4,146 点）。

（３）ひょうごプレミアム芸術デーの実施

県民が気軽に芸術文化に触れる機会を提供するため県が実施する「ひょうごプレミアム芸術デー」の一環として、次の取組を実施する。

- ① 無料開放 令和 7 年 7 月 9 日～15 日（7 日間）
- ② 「自由に話せる観覧日」の設定
障がい者や子育て世代が気兼ねなく鑑賞できる日として、毎月第 2 日曜日に設定
- ③ スペシャルライブの開催（横尾氏ゆかりの音楽家を起用予定）

（４）情報発信の強化・充実

横尾作品は世界的にも評価が高いことから、ホームページの多言語化や字幕付き展覧会 P R 動画の配信などの従来の取組に加えて、大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭の訪問者を誘引するため、SNS を用いた多言語での情報発信、瀬戸内地域の美術館と連携した P R や共通チケットの発行など、国内外に向けて広報を充実させる。

〔県立美術館王子分館の管理・運営（詳細）〕

兵庫県立美術館王子分館の指定管理者として、横尾忠則現代美術館での展覧会、公開制作やコンサートなど各種催しを開催し、芸術文化に関する情報発信を行うとともに、原田の森ギャラリーでは、地域のプロ・アマチュア芸術家や県内芸術文化団体の発表の場としての役割を果たせるよう管理・運営に努める。

【所在地】 神戸市灘区原田通3丁目8番30号

【施設】 〈原田の森ギャラリー〉本館（1・2階展示室、収蔵庫）、
東館（1・2階展示室、収蔵庫地下1階・地下2階）、
会議室（2室）、講義室等（3室）
〈横尾忠則現代美術館〉展示室（2・3階）、
アーカイブルーム、コレクションギャラリー、
展望施設（4階）、
オープンスタジオ、ミュージアムショップ、
インフォメーション（1階）、収蔵庫（地下1階）
〈喫茶棟〉
〈附属駐車場〉31台（時間貸し）

1 原田の森ギャラリーの管理・運営

（1） 貸しギャラリー等の実施

当施設は、公立美術館としては全国最大規模のギャラリーを有し、明るく開放的かつ快適な空間の展示室が利用者から大変好評を得、高い利用率を保っている。

会議室では絵画教室に加えコンサート等、多様な創作・発表の場として提供し、芸術活動の拠点として幅広く活用されるよう施設の貸出しを行う。

また、施設の開館から50年以上経過し、老朽化が進むなか、来館者へ安全安心な環境を提供するため、必要な修繕等については県と協議しつつ、施設・設備を常に良好な状態に維持するよう努める。

（2） ギャラリー運営会議の実施

広く公平・適正な利用を推進するとともに、効率的・計画的なギャラリー運営の円滑化を図るため、県域文化団体代表者を含む運営委員からの助言・提言を得るギャラリー運営会議を実施する。

（3） 情報の提供・広報

① ホームページの運営（<https://hyogo-arts.or.jp/harada>）

【内 容】施設概要、展覧会情報、利用案内、空室情報等

② SNSの運用（フェイスブック、ツイッター、インスタグラム）

【内 容】即時性のある展覧会情報、イベント情報等

③ 美術情報の提供

【内 容】1階フロアに展覧会案内ハガキ、パンフレットを見やすく配置し、来館者に情報サービスの提供を行う。またJR灘駅をはじめ近隣施設へのスケジュール掲示など、地域と連携しながら利用者増に努める。

④ 障害者アート作品の常設展示

【内 容】全国的にも珍しい、障害のある方々の芸術作品等の発表、鑑賞機会の拡大を目的とした「兵庫県障害者アートギャラリー（常設展示室）」を館内に設け、2～3カ月毎に作品を入れ替えて展示を行う。

2 横尾忠則現代美術館の管理・運営

令和5年度には長年の懸案であった横尾氏からの寄託作品905点の寄贈が実現し、世界最大の横尾作品のコレクションを有する館となった。この豊富な作品コレクションを生かして、横尾忠則氏の優れた作品を広く県民に鑑賞する機会を提供する。

「横尾芸術の一大拠点」として、企画に即した展覧会関連事業、オープンスタジオコンサート、パフォーマンスのほか、コロナ禍において定着した動画配信等による情報発信も含めて、多様な表現手段を用いた美術館広報を展開し、若い世代をはじめとした新たな来客層への訴求にもつながる魅力を当館らしく発信していく。

(1) 横尾作品を中心とした展覧会の開催

展覧会名	第1期企画展	横尾忠則の肉体派宣言展
会 期	令和7年5月24日（土）～8月24日（日） 80日間	
内 容	横尾の創作と肉体は密接に関わってきた。それは単に人体をモチーフにするだけではなく、理性や思考を手離し、自分自身の体の赴くままに筆をふるうという横尾の制作態度そのものにも現れている。本展では、「描く肉体」「描かれる肉体」「肉体を超えて」の3部構成により、いわゆる画家宣言以来、画業45年を迎えようとしている横尾の創造の世界に迫る。	
関連事業	キュレーターズトーク、スペシャルライブ等	

展覧会名	第2期企画展	復活！ 横尾忠則の髑髏まつり
会 期	令和7年9月13日（土）～12月28日（日） 92日間	
内 容	生命力に満ち溢れた横尾忠則の作品に漂う「死」の影。骸骨や首吊りのロープのような暗示的な記号から、空襲で赤く染まった空や亡くなった同級生の写真など自身の記憶に由来するモチーフまで、様々な「死」のかたちが、鮮やかに力強く、観る者を挑発する。 本展は2020年、コロナ禍により開幕直前で中止となった「横尾忠則の髑髏まつり」を再構成したものである。	
関連事業	キュレーターズトーク等	

展覧会名	第3期企画展	大横尾辞苑 ～これであなたもヨコオ博士!?
会 期	令和8年1月31日（土）～5月6日（水・振休） 83日間	
内 容	展示空間を辞書・辞典に見立てた親しみやすい入門編的な展覧会。ひらがな46文字、アルファベット26文字にそれぞれ対応した作品を、辞書風の分かりやすい解説文とともに楽しく鑑賞することで、横尾芸術に気軽に親しむ機会とする。	
関連事業	キュレーターズトーク等	
同時開催	大横尾辞苑ふろく（関連資料の展示）	

(2) 貴重なアーカイブ資料の整理・公開・展示

アーカイブでは、横尾氏のもとに保管されていたイラストやポスター、デザイン原稿をはじめ、蔵書・関連記事の掲載誌、レコード収集品など多岐にわたる資料を受け入れ、順次、整理・公開していく。

資料整理をより円滑に行うため、博学連携として甲南大学、甲南女子大学、神戸芸術工科大学等からの博物館実習生を受け入れる。

① 整理・公開

整理済み資料に関する情報は、横尾忠則現代美術館 HP にて「整理済みアーカイブ資料リスト」として一覧を公開。

※登録済の資料：4,146点(令和7年1月末)

② 閲覧

整理済み資料については閲覧に供する。(無料、要予約、個人への貸出不可)

③ 展示

企画展等での展示に供している。

(3) 作品・資料等の保存・修復活動

収蔵作品及び資料の劣化要因(温湿度、光、空気汚染物質、有害生物など)を制御、排除することで、館内環境を良好に保つよう努める。保存・修復に際しては、作品の現状維持修復を原則とし、オリジナルの価値を損なわないように配慮しながら、展示・他館貸し出し等に応じ、修復措置を行っている(令和6年度：159件実施)。

(4) ひょうごプレミアム芸術デーの実施

県民の芸術文化に触れる機会を充実するため、県立芸術文化施設の無料開放等を行う県民プレミアム芸術デーを実施する。

① 無料開放 令和7年7月9日(水)～15日(火)

② 自由に話せる観覧日 障がい者や子育て世帯の来館促進のため毎月第2日曜日に設定

③ 著名アーティストによるスペシャルライブ ほか

(5) オープンスタジオ等を活用した多彩なイベントの実施

① 企画展関連事業

横尾氏と密接な関係のある著名人とのトークショーやライブ、キュレーターズトーク、ワークショップ、講演会等を開催する。

② オープンスタジオコンサート

協会本部のアーティストサロン等の協力を得て、県内を中心に活動する優れた音楽家によるコンサートやアーティストによるパフォーマンスを実施し、美術館のにぎわいづくりと新たなファン層の拡大をめざす。

③ YouTubeでの動画配信事業

公式YouTubeチャンネル(令和2年8月開設)において、ギャラリートーク(字幕：日・英)のほか、展示室の横尾作品をバックにしたパフォーマンスなど、館の魅力を発信する映像の制作・配信等を行っていく。

(6) 連携によるにぎわいづくり

① 地域との連携

(ア) 地域住民・商店街等との連携

展覧会ポスター・チラシ配布、地域イベント(六甲ファミリーまつり、美かえるカラフルマルシェ)でのPRを実施。

(イ) 周辺施設との連携(神戸文学館、灘区民ホール、王子動物園、BBプラザ美術館等)

相互のポスター・チラシの掲示・設置。

② 学校との連携

- ・芸術系大学を中心に団体を受け入れ、学芸員の案内を実施
- ・関西学院大学、神戸松陰女子学院大学、兵庫教育大学との提携

③ 他館との連携

(ア) 神戸市内美術館で構成する「KOBE MUSEUM LINK」との連携

共同ホームページの作成、共同イベントの実施（スタンプラリーによる広報等）。

(イ) ミュージアムロードを構成する主要文化施設との連携

県立美術館本館、原田の森ギャラリーはもとより、近接する神戸文学館や神戸市立王子動物園、ミュージアムロードの中間点に位置するBBプラザ美術館等と連携し、ポスターの掲示やチラシを設置、県立美術館とは半券提示での割引制度を設け、相互に協力している。

(ウ) 国内外の美術館等

2025大阪・関西万博に向けて「瀬戸芸美術館連携」プロジェクトに参画するほか、豊島横尾館、西脇市岡之山美術館、世田谷美術館をはじめとする国内外美術館等との広報連携を推進していく。

(7) 情報の提供・広報

マスメディアや交通広告をはじめ、インターネットの活用など様々な媒体を通じて広く広報を実施。また横尾氏の国内外での知名度・評価も高いことから、全国誌への掲載の働きかけ、ホームページの多言語化や展覧会図録の英語併記、英語字幕付きPR動画の配信など、国際広報にも努める。

① 県庁記者クラブでの資料配布、記者説明会の開催

② テレビ・ラジオのニュース・特集番組、新聞等マスメディアの活用

③ 芸術・旅行分野の全国紙への掲載働きかけ

④ インターネット等による当館情報発信

ホームページ（多言語対応）、YouTube チャンネル、X（旧ツイッター）、フェイスブック、インスタグラム、SNS による広告配信等。

⑤ 交通広告等による広報

阪急・山陽電鉄への広報、三宮センター街への看板掲出、JAF との提携・割引を実施。

⑥ 横尾氏本人によるPR

テレビ出演、雑誌対談、X（34.9 万フォロワー）などのほか、横尾氏のコラボ・ブランド（ISSEY MIYAKE、BEAMS、モンマルトルニューヨーク、T00T 等）を当館広報に活用。

⑦ キャッシュレスへの対応

Sonoligo、楽天チケット等での館外チケットの販売、クレジットカード等によるキャッシュレスチケット販売の実施。

3 駐車場等の運営（収益事業）

来館者の利便性に配慮した有料駐車場の運営を行う。

（時間貸）収容台数 31 台

4 その他、施設利用者の利便向上への取り組み（収益事業）

- ・カフェスペースの貸出（横尾忠則現代美術館）
- ・関連グッズのショップの設置・運営（横尾忠則現代美術館）
- ・飲料自動販売機の設置